

2025 年度シラバス
看護学部 1 年次科目

2025 年 4 月 1 日 現在

スタートアップセミナー Start-up-Seminor	授業担当教員		定方 美恵子・戸田 肇・諸橋 麻紀	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ、○Ⅱ、Ⅳ / A-1、2、4、7、8、B-3			

【授業概要】

この授業は、医療人として学ぶための心構えを身につけること、大学での学修に必要な技能を身につけること、自分の看護職としてのキャリアデザインを描く心構えができることを目的とする。医療人としての心構えとしては特に、看護という専門性の高い領域において、チーム医療を担う人材に求められる礼儀や他者とのコミュニケーション技術を理解し、将来のビジョンを描くことができるようにする。大学で学ぶための技能としては、様々な場で求められる思考・判断・レポート作成の基本について効果的な学修方法を修得する。単に知識の習得にとどまらず、自らの目標を設定し、能動的に学修し、自己点検をとおして、今後の専門的知識修得の必要性和社会における関わりを学ぶ。また、薬科大学の建学の精神を踏まえ、学部の特徴、目標、卒業までの4年間の目標設定等に役立てる等、学修意欲を喚起する。

【実務経験】

（定方）病院で6年間の実務経験、短大・大学で40年間の看護教育経験を持つ教員が、この経験を生かして、本科目「スタートアップセミナー」の講義を行う。
（戸田）看護実践、看護学教育の経験を40余年有する教員が、この経験を生かして、本科目「スタートアップセミナー」の講義を行う。
（諸橋）勤務助産師32年、開業助産師28年の実務経験及び、大学教員5年の看護教育経験を持つ教員が、この経験を生かして、本科目「スタートアップセミナー」の講義を行う。

【到達目標】

1）医療人として社会から期待されことと、課題解決型のスタディスキルの重要性を説明できる。2）看護学部のカリキュラムについて理解できる。3）大学で学ぶために必要なスタディスキルの基本を説明できる。4）スタディスキルとして、ノートの取り方、図書館での資料の探索方法を身につけることができる。5）スタディスキルとして、パソコンの使用、情報リテラシーを身につけることができる。6）スタディスキルとして、文章のまとめ方、レポートの書き方を身につけることができる。7）スタディスキルとして、プレゼンテーションスキルを身につけることができる。8）スタディスキルとして、ディスカッションスキル、仲間と学ぶスキルを身につけることができる。9）スタディスキルとして、ポートフォリオの作成と活用の方法を理解できる。10）コミュニケーションの取り方、対人関係のスキルを身につけることができる。11）看護職としての活躍の場を理解し、具体的な将来のキャリアデザインを描くことができる。12）薬科大学の建学の精神を知ること、大学として目指すことを理解できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	医療人としての学修方法と心構え 薬科大学の建学の精神	看護という専門性の高い領域の学修を始めるうえで、医療人に社会は何を期待しているか、医療人として、看護職としての学びの特徴や学習のための知識・技術・実践の内容について講義する。	講義	予習：本科目で使用するテキストに目を通し、医療人としての学びの内容をイメージして臨む。(30分) 復習：講義プリントとテキストを用い、医療人としての学びの具体的な事柄の理解を深める。(60分)	1, 12	定方
2	看護学部のカリキュラムのねらいと構成	看護学部で学ぶにあたり、4年間のカリキュラムがどのような目的で、どのような科目が、どのような内容と方法で組み立てられているかを説明する。看護学部の全体のビジョンを示すとともに、学年別に学修のレディネスを踏まえて、組み立てられている意図を理解するとともに、4年間の学修のビジョンを描くことができるように教授する。レポートについて、課題の設定、構成、事実と自分の意見の記載、引用文献、などの基本について教授する。	講義	予習：本科目で使用するテキストと、学生便覧に目を通し、教科目を調べておく。(30分) 復習：講義プリントとテキストを用い、教科目と授業形態（講義・演習・実習）の理解を深める。(60分)	2	定方
3	スタディスキル（1） 情報リテラシとマナーについて	読み書きレベルのコンピュータリテラシーから、今や、大量の情報を扱い生かす情報リテラシーを熟知すべき時代に入った。インターネットと情報発信の仕方とそのルールを理解し、適切な使い方が必要とされる。情報のモラルを踏まえて、メッセージを伝達する際には、メール、直接会う、電話、手紙などの様々な方法がある。特にメール発信時の伝達のマナーについて講義の中で触れ、実際にメール文を作成できるよう教授する。	講義・演習	予習：情報リテラシーと現代の問題と、メールの作成時のマナーについて、事前に調べる。(30分) 復習：メールを送信する際の相手へのマナーも踏まえて、課題のメール文を完成させる。(60分)	5	諸橋
4	大学で学ぶ方法 大学で何を得的か	この講義の大きな目的は、大学での学修に必要な技能を身につけることがあげられる。高校までの学習と大学からの学修の違いは何かを説明するとともに、大学とは学術の中心として広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開する場であること、学問を追究する姿勢が大学での学びを広く深くすることについて具体例を用いて教授する。	講義	予習：本科目で使用するテキストに目を通し、大学とは何かを考えて臨む。(30分) 復習：講義プリントとテキストを用い、大学で学ぶための方法の理解を深める。(60分)	3	戸田
5	スタディスキル（2） ノートの取り方	大学での授業は教科書だけでなく、教員が用意した資料を用いて行われることが多い。授業を受けるには事前の学習はもちろんのこと、講義形態に応じて資料の整理と授業後の自分なりのノート等の整理が必要である。そのための方法を説明する。	講義	予習：資料の整理のための使いやすいノートやファイルを探す準備をする。(30分) 復習：授業が終わった後のノートの整理の方法の説明を参考に、実際にやってみる。(60分)	4	戸田
6	スタディスキル（3） パソコンの使用	パソコンの基本的な知識、正しい取り扱い、基本的なセキュリティ知識を説明する。大学での学習に必要なパソコンアプリケーションの操作方法として、Word、Excel、PowerPointなどの基本的な操作方法を習得し、課題作成ができるようガイドする。	講義・演習	予習：PCの、起動から終了までの基本的操作と、Word、Excel、PowerPointなどの操作方法を事前に調べる（30分） 復習：Word、Excel、PowerPointなどの操作方法を復習し、各ソフトでの課題を制作する。(60分)	5	諸橋
7	スタディスキル（4） 文章のまとめ方とレポートの書き方	大学での講義に参加するためには、教科書学習だけでは専門的な知識の理解には至らない場合が多い。講義の内容に関連する書籍を自分で探し、読んでいくための、書籍の選び方や理解しながら読むためのスキルを講義する。 また、レポートは作文や感想文とは異なるので、課題の設定、レポートの構成、事実と自分の意見の記載、引用文献、などの作成の基本について教授する。	講義・演習	予習：看護学原論で使用する教科書を読み、疑問に感じた箇所をリストしておく。(30分) 復習：疑問に感じた箇所を調べるために適切と思われる書籍を手に入れ、自分の疑問が解消されたかを確認する。(60分)	6	定方
8	学生としてのスキル（1） コミュニケーション、対人関係、ストレスマネジメント	学生として、対人関係を築いて仲間づくりをするには、伝える、聴く、関わるといった関係性の構築が重要である。人と関わるためのコミュニケーションの原則、マナー、学ぶ仲間づくり、自己紹介、リラクセーションの活用などのストレスマネジメント等、相互協力できる素地を醸成できるよう、講義と演習を行う。	講義・演習	予習：コミュニケーションの種類と要素について事前に調べる。(30分) 復習：対人関係のスキルについて必要な要素について、自分の考えを加えて考察する。(60分)	10	定方
9	スタディスキル（5） ディスカッションスキル、仲間と学ぶスキル	ディスカッションとは何か、ディスカッションを行う目的や意義は何か、ディスカッションの準備と実践の実践について、演習を通して理解する。 仲間と学ぶスキルとして協同学習の条件を解説し、授業中の協同学習や授業以外のグループ学習や仲間同士で学ぶための方法、ルール、場の設定などについてガイドする。	講義・演習	予習：ディスカッションのテーマに関してあらかじめ調べて、演習に参加する。(30分) 復習：グループで話し合った内容を踏まえて、自分の考えを加えて、テーマについて考察する。(60分)	8	定方

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
10	スタディスキル（６） ポートフォリオの作成と活用方法	ポートフォリオの目的、看護学を学ぶための講義や演習での活用方法、実習での活用方法を示すとともに、効果的な作成の方法について教授する。	講義・演習	予習：ポートフォリオとは何か、あらかじめ調べて、演習に参加する。（30分） 復習：スタートアップセミナーの講義の学びの過程についてポートフォリオとしてまとめる。（60分）	9	定方
11	スタディスキル（７） 図書館の活用	大学図書館における情報検索と収集とその活用法を身につけるよう教授する。	講義・演習	予習：大学図書館の構造、図書の整理の方法について事前に訪問し、調べる。（30分） 復習：情報検索ツールとしての医学中央誌の検索方法を再確認し、文献を調べることができる。（60分）	4	定方 図書館司書
12	キャリアデザイン（１） 低学年次から考える学生生活ビジョン	共に学ぶクラスの仲間に改めて自己紹介し、これからの大学生活で何を学びたいか、どのように学んでいきたいか、グループで自分を知ってもらい、他者を理解し、仲間づくりをする。	講義・演習	予習：大学生生活の4年間のビジョンをまとめて紹介できるように準備し、参加する。（30分） 復習：大学生生活の4年間のビジョンをもう一度、振り返り考える。（60分）	8, 11	定方
13	キャリアデザイン（２） 看護職としてのキャリアデザイン例	看護職として仕事をするにはどのような場があるのか、またどのような職種があるのかを紹介するとともに、学び続けるためには、大学院で学ぶ、高度実践看護専門職となるための教育機関で学ぶ等の自己研鑽の方法について、様々な事例を通して教授する。自分自身のキャリア形成として、関心を持っていること、目標としていることを説明し、将来の自分らしいキャリア形成への学習のための方法を見つけることができるよう教授する。	講義・演習	予習：看護職はどのような場所に勤務しているのかを調べて、参加する。（30分） 復習：自分はどのような仕事の場に関心があるのかを改めて考える。（60分）	8, 11	定方
14	スタディスキル（８） プレゼンテーションスキル	グループ別に各自のテーマに関するプレゼンテーションを行い、ピア評価を行い、ベストoneを選ぶ。	演習	予習：PowerPointでのプレゼンテーションの準備をする。（60分） 復習：自身のプレゼンテーションを振り返り、課題を明らかにすることができる。（30分）	7, 10	定方 戸田 諸橋
15	スタディスキル（９） プレゼンテーションスキル	各グループの代表者によるプレゼンテーションを行い、評価を行う。	演習	予習：グループ代表のプレゼンテーションについて前向きなコメントを伝えることができる。（60分） 復習：発表者のプレゼンテーションを聴いて、評価することができる。（30分）	7, 10	定方 戸田 諸橋

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	看護学生のためのよくわかる大学での学び方 第2版	前原澄子、遠藤俊子監修、梶谷佳子、川原宣子、堀妙子編集	金芳堂
教科書	第3回・第6回に使用：医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応	佐藤・川上編	共立出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						80%		20%
備考						最終レポートを評価する。		プレゼンテーションの内容について、総合的に評価する。

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの集計結果を定期試験期間後に開示

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
定方 美恵子	月・金 12時30分～13時	新津キャンパス（J205）	sadakata@nupals.ac.jp
戸田 肇	月・木 12時30分～13時	新津キャンパス（J206）	toda@nupals.ac.jp
諸橋 麻紀	月曜 12時30分～13時	新津キャンパス（J205・J206）	morohashi@nupals.ac.jp

【その他】

各授業はテキストならびに、配布されるプリント主体で行う。

【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポートとプレゼンテーションの総合評価（100点）のうち60点以上を合格とする。

社会学	授業担当教員		齋藤 喜和	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ，○Ⅱ / A－1、4、B－2、C－2			

【授業概要】

社会学の基本的な知識や現代社会の特質を学びながら、医療・福祉分野と社会学との関係についての理解も図る。
 全体の流れは以下の通りである。

- 1) 社会・国家の成り立ちや機能について、歴史的な視点も交えながら概説する。
- 2) 社会学の基礎概念（行為、行動、相互作用、家族、コミュニティなどの集団、組織等）について学ぶ。
- 3) 現代社会の身近な社会問題について現状を理解し、解決の方向性を考察する。

【実務経験】

公益社団法人新潟県自治研究センターで13年研究に携わるとともに、公務員試験対策の予備校で20年以上指導を続けている。地域活動支援センターの役員や県議会議員（1期）を務めた経験も活かして、本科目の講義を行う。

【到達目標】

- 1) 個人を取り巻く社会の構造を理解し、社会学的視点から捉えることができる。
- 2) 自己と他者、および社会の関係を様々な角度から認識できる。
- 3) 医療、福祉と社会との関係を考えることができる。
- 4) 時事問題への関心を高め、地域・社会への参画意識を持つことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	国家・社会の機能と構造①	権力や政治とはどのようなものかを捉えたうえで、国家機能の変遷（夜警国家から福祉国家へ）について学ぶ。 また、大衆社会の概要を説明する。	講義	予習：シラバスを熟読する。 教科書82～87ページ。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	1)・3)	齋藤
2	国家・社会の機能と構造②	現代の福祉国家論について学ぶ。 発展段階的、収斂論的福祉国家形成論とエスピン・アンデルセンの福祉国家レジームについて概要をまとめる。 現代福祉国家の課題について考える。	講義	予習：レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	3)・4)	齋藤
3	国家・社会の機能と構造③	社会構造と社会変動論について、いくつかの説を取り上げ概説する。 第1回、第2回で学んだ国家機能の変遷について、人権の発展という観点から考える。	講義	予習：教科書112～116ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	1)・3)・4)	齋藤
4	社会学の基礎概念①	社会的行為の理論―行為と行動、行動とパーソナリティなど―と 社会のなかの人間と人間のなかの社会―集団、地位と役割―について学ぶ。	講義	予習：教科書17～24ページ、143～144ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	2)・3)	齋藤
5	社会学の基礎概念②	看護現象と社会学―ケアと行為、コミュニケーションなど―について学ぶ。また、第6回以降につながるものとして、社会的ネットワーク、ソーシャルサポートについても概説する。	講義	予習：教科書98～100ページ、141～158ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	2)・3)	齋藤
6	社会学の基礎概念③	ライフコースと家族、家族の類型についてまとめていく。あわせて、ジェンダー、働き方の変化について考えていく。	講義	予習：教科書26～41ページ、60～66ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	1)・3)・4)	齋藤
7	現代社会の課題①	少子・高齢、人口減少問題を取り上げ、その影響・課題について学ぶ。 関連して「地方創生」についても概要を説明し、地方、地域の視点の重要性から考えていく。	講義	予習：教科書87～88ページ、139～140ページ196～197ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する（60分）	1)・3)・4)	齋藤
8	現代社会の課題②	現代における格差・貧困問題について取り上げ、社会的包摂・排除とは何かについて学んでいく。	講義	予習：教科書106～114ページ。 レジュメ・資料を熟読し、考えをまとめておく。（60分） 復習：レジュメを使い講義内容を整理する。（60分）	1)・2)・3)・4)	齋藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	新体系 看護学全書 基礎科目 社会学	米林喜男・渋谷優子	メヂカルフレンド社
参考書	はじまりの社会学：問いつけるためのレッスン	奥村隆 編著	ミネルヴァ書房
その他	毎回、レジュメと資料を配布します。		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%					30%	20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

提出されたレポートはコメントを付して返却します。
 授業に関して寄せられた質問や要望は、内容によって次回以降の講義等で回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
齋藤 喜和	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

人間関係論	授業担当教員		小出 恵子・柏 美智	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ，○Ⅱ / A－4、B－2、C－2、D－1			

【授業概要】

日常的に患者との関わりが求められ、チーム医療の一員としても重要な役割を担う看護師にとって、「人と関わる」ということを軽視することはできない。自分自身についてさまざまな角度から理解し、受けとめ、それを元に「相手」との関わり（対人関係）を考えていきます。講義の中でも実際に学生同士で実践してもらいます。

【到達目標】

- ①人間の発達と人間関係のつながりについて説明できる。
- ②自分自身の思考や感情に気づき、言葉にすることができる。
- ③他者との関わりについて考え、コミュニケーションの重要性を知る。
- ④カウンセリングについて知り、対人関係に活用することを考える。
- ⑤他者の立場に立って、その人の感情や行動について考えることができ、自分の対応を選択できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	人間関係論とは 対人関係 自己と他者	①人間関係論の基礎的視点について知る ②自己認知：自己とは何かを考える ③対人認知：他者への理解について知る	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
2	対人行動 態度 集団と個人	①対人関係と役割、態度と対人行動について知る ②集団と個人における人間関係について考えを広げる	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
3	コミュニケーション 体験しながら学ぶ	①人間関係とコミュニケーションについて知る ②人との関わり方を体験して説明できる ③非言語コミュニケーションの重要性について説明できる	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
4	カウンセリング さまざまな心理療法 PST,精神分析,CBT	①カウンセリングの基本技能について知り、実際に体験する ②カウンセリングの看護への応用について知り、活用について考える ③心理療法のいろいろについて概観する	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
5	さまざまな心理療法 コーチング アサーティブコミュニケーション	①心理療法の理論について知る ②コーチングについて知る ③アサーションについて知る ④事例について考える	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
6	こころを強くする	「こころを強くするための技法を知る」 ①レジリエンスについて知る。 ②レジリエンスの基本を説明できる。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	柏
7	保健医療における人間関係	①患者を支える人間関係について事例を基に考える ②家族を含めた人間関係について事例を基に考える ③地域との関わりについて事例を基に考える	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	小出
8	医療専門職者の体験を聞く	①ゲストスピーカーの看護師体験を聞き、キャリアデザインを考える。 ②自己の考えをまとめる。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	①②③④⑤	柏

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	人間関係論 第3版	石川ひろの他	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						毎回提出するレポート6回分		

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの返却

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小出 恵子	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	
柏 美智	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

文化人類学	授業担当教員		中村 潔	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎ I、○II, IV / A－1、4、7、B-1、2、3、C－2			

【授業概要】

人を理解するうえで、人が生きている背景を理解することは重要である。グローバル化が進行する現代社会に生きる我々は異文化との接触を余儀なくされており、他の文化を理解することが迫られている。異文化との接触はまた自らの文化変化を伴わざるを得ない。

文化人類学は文化の概念と地球上のさまざまな文化から、人間を人間たらしめる「文化」を明らかにする学問である。 民俗文化を内側から明らかにし、現代生活のなかに伝承される文化がいかに表現され、いかなる形で存在し、 またどのように推移してきたかを見きわめ、その理由を知ること異なる文化の理解をする。それにより、私たちを取り巻く日常の素朴な疑問から現代の社会問題まで考えるとともに、自分の文化、 ひいては自分自身についてもより深い理解につなげる。"

【到達目標】

- 1．人間にとっての文化の意味を文化人類学の視点から理解する。
- 2．日本、および世界の文化の成り立ちと推移を知り、自・他の文化を理解する。
- 3．日本の暮らしから文化を理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	人類学とは何か	文化人類学と隣接領域 文化人類学の対象	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
2	文化相対主義 （人類学の理論的貢献）	自民族中心主義と文化相対主義	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
3	フィールドワークと民族誌 （人類学的方法的貢献）	現代人類学の成立とフィールドワーク 民族誌記述の問題点	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
4	ジェンダーと文化	セックスとジェンダー 性的役割、性と気質	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
5	家族と親族 親族と結婚	個人と社会 家族 親族	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
6	宗教と儀礼	ライフサイクルと通過儀礼 通過儀礼の構造	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
7	人種・民族・信仰	人種と民族と文化 国家と民族と文化	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村
8	医療と介護の人類学	多元的医療体系 病 illnessと疾病 disease，治療curingと癒やしhealing， 治療cureと介護care	講義	復習：授業中に配布する資料を読み授業を振り返って理解を深める。		中村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	使用しない		
参考書	授業時にリストを提示する		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%							40%
備考								レスポンスシート

【課題に対するフィードバック方法】

授業時にコメントする

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中村 潔	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

環境と健康		授業担当教員	村山 敏夫					
		補助担当教員						
		区分	教養必修科目					
		年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位			
看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） ◎Ⅳ、○Ⅲ / B1, 2		保健師課程					
【授業概要】 人類は近代以降、地球の資源を費やすことで大量生産と大量消費を繰り返し、温暖化など地球規模での環境問題が顕在化し、人類の存在基盤そのものが脅かされるようになってきた。環境問題は政治・経済・文化・医療の問題でもある。この科目では、地球規模から地域的な課題まで、環境問題の概要を学び、健康への影響を具体的に学ぶ。また、地球環境による健康への影響について自分の考えを示すことができる。								
【実務経験】 （村山）病院に10年間、予防医療に関する研究と指導経験を持つ。また、所属先の大学では野実習やSDGsに関するプロジェクトを展開している。実務経験をもとに本科目の講義を行う。								
【到達目標】 1）地球環境と人の健康との関わりを理解する。 2）身体活動量の確保が重要であることを説明できる。 3）食と住にまつわる環境について理解する。 4）日常生活における環境課題を理解する。 5）SDGsについてを理解する。 6）健康に必要な環境整備について理解する。								
【授業計画】								
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員		
1	環境と健康総論	人間の生活が、大気・水・地形や土壌・生態系などあらゆる自然環境とつながりを持って成り立っていることを理解する。自然環境の変化における人間の生活に大きな影響を考える時間とする。特に地球温暖化の問題について焦点を当てて議論する。	講義	予習：我が国における生態系についての社会課題について調べる（60分） 復習：地球温暖化と健康への影響	1）	村山		
2	環境と身体活動	積極的な身体活動は、性別・年齢・能力・時間・動機など個人的要因と共に居住地の構築環境、自然環境、社会環境などによっても影響を受ける。ここでは、地域環境を考え、自然環境について議論を深めることとし、身体活動や活動的な生活に対する仕組みづくりを議論する。	講義	予習：健康のための身体活動とは何かを調べる（90分） 復習：実践的な健康運動についてまとめる（90分）	2）	村山		
3	食環境と健康	栄養・食生活は、生命を維持し、健やかに成長し、人々が健康で幸福な生活を送るために欠くことのできない営みである。ここでは、生命活動維持のため食の理解を深めることと具体的な事例に基づきながら色の重要性について議論する。	講義	予習：食事についての基礎（90分） 復習：食行動における環境要因と仕組みについて（90分）	3）	村山		
4	住環境と健康	住宅の温熱環境や入浴における健康について講義する。居間、寝室、浴室、脱衣所などの冬季室温に変化などを例にして、その際の温熱環境と人体に関わる情報を集約して理解を深める。	講義	予習：住宅の温熱環境について調べる（60分） 復習：温熱環境と健康について（90分）	3）	村山		
5	日常生活と環境課題	人間に備わるホメオスタシスの意義、睡眠や日常生活における健康にまつわる環境要因の理解と社会課題の解決に向けた議論を行う。	講義	予習：ホメオスタシスと睡眠について（60分） 復習：日常生活における健康維持増進の環境要因についてまとめる（60分）	4）	村山		
6	防災活動と健康	防災意識を高めるための“遊んで備える”の実践に向けた具体的な事例に基づく野外活動と、そのための知識の習得。季節で変わる防災予備と心構えを学ぶ。	講義	予習：防災の基礎知識について調べる（60分） 復習：遊んで備えるの具体的な例をまとめる（30分）	4）	村山		
7	自然環境と持続可能な社会	SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）が掲げる「地球上の誰一人として取り残さない」という誓いにおいて、地球環境における生命や暮らしについてこれまでの講義内容を踏まえながら総括的に議論を進める。	講義	予習：SDGsについて調べる（30分） 復習：自分ができるSDGsについて（30分）	5）	村山		
8	自然環境と持続可能な社会	健康日本21の理念に基づき、疾病による死亡、罹患、生活習慣上の危険因子などの健康に関わる具体的な目標を設定を共有し、自己選択に基づいた生活習慣の改善および健康づくりに必要な環境整備を進めるための情報提供を行う	講義	予習：健康日本21の理解（30分） 復習：配布資料の復習（60分）	6）	村山		
【教科書・参考書】								
種別	書名	著者・編者			出版社			
教科書								
参考書								
【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						講義後にレポート課題を課す		
【課題に対するフィードバック方法】								
【連絡先】								
氏名		オフィスアワー		研究室（部屋番号）		Eメールアドレス		
村山 敏夫		授業終了後		非常勤講師室（A棟209）				

情報リテラシー基礎 Basic Information Literacy	授業担当教員	高津 徳行・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程

【授業概要】

医療・健康系分野において、コンピュータが果たす役割はますます大きくなっている。この授業では今後の学習や研究、卒業後の業務などで利用する、パソコンやインターネットを使う上での基本的な知識、セキュリティに対する対応策等について説明し、情報機器の基礎について講義する。また、基本的なソフトウェアを用いて文書作成、実験データ解析や情報収集、プレゼンテーションスライド作成などの実用的なPC活用スキルを指導する。本科目は、1年次後期開講科目「情報リテラシー応用」の基礎に位置付けられる。

【到達目標】

コンピュータそのものの知識を含む情報リテラシーに関する基礎的な知識を学習し、正しい知識・モラルをもって適切にコンピュータを利用することができる。
知識・理解：1）コンピュータを構成する装置の機能と接続方法を概説できる。2）ソフトウェアの基礎概念について概説できる。3）ネットワークの構成について概説できる。4）インターネットについて概説できる。5）インターネット上でのサービスやソーシャルメディアについて概説できる。6）ネットワークなどのセキュリティについて概説できる。7）コンピュータウィルスや悪意あるソフトウエアなどの脅威について概説できる。8）著作権やその隣接権について概説できる。9）個人情報について概説できる。10）SNSを利用する上での注意点を概説できる。
関心・意欲・態度：1）ネットワークを利用する上でのセキュリティに配慮することができる。2）情報システムを扱う上での、マルウェアやコンピュータウィルスなどの各種の脅威への注意点について配慮できる。3）ソーシャルメディア利用上の注意点について配慮できる。4）著作権やその隣接権を尊重することができる。5）個人情報に配慮・保護することができる。
技能・表現：1）Wordを使用してレポートを作成ができる。2）電子メールを使用してビジネスメールの様式となる文章を作成・送信できる。3）Excelを使用して実験データ処理ができる。4）PowerPointを使用してプレゼンテーションのスライドが作成できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	授業オリエンテーション（前半） コンピューターの構成（1）	授業の概要・進め方等を理解する。データサイエンスとは何かを知る。ハードウェアとソフトウェア、ハードウェアとは何かを学ぶ	講義	予習：シラバスの熟読。（80分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	知識・理解1)、2)	高津
2	コンピューターの構成（2）	ハードウェアの種類と、その接続方法を学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解1)	高津
3	コンピューターの構成（3）	ソフトウェアとは何か、ソフトウェアの種類について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解2)	高津
4	通信とネットワーク（1）	LANとWAN、ネットワークの接続方法、無線LANのセキュリティについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解3)、4)、6) 関心・意欲・態度1)	高津
5	通信とネットワーク（2）	インターネットの概念、インターネット接続に必須とされるIPとドメインについて学ぶ、インターネット上でのサービスの種類、ソーシャルメディアについて学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解4)、5)	高津
6	情報とセキュリティ（1）	システムやデータの安全性について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解6)、7) 関心・意欲・態度1)、2)	高津
7	情報とセキュリティ（2）	ネット上の脅威とその対策、著作権の保護について学ぶ。	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解6)、7)、8) 関心・意欲・態度1)、2)、4)	高津
8	情報とセキュリティ（3）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（1）	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解6)、9)、10) 関心・意欲・態度1)、3)、5)	高津
9	情報とセキュリティ（4）	個人情報の保護とSNS利用上の注意点について学ぶ（2）	講義	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	知識・理解6)、9)、10) 関心・意欲・態度1)、3)、5)	高津
10	授業オリエンテーション（後半） タイピング、電子メール、ワープロソフトWord（1）	コンピュータの基本操作と便利なツールや、電子メールの利用方法とメールマナーについて学ぶ。また、Wordを使用して基本的な文書の作成や飾り文字について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現1)、2)	井坂 若栗 佐藤
11	ワープロソフトWord（2）	Wordを使用してパンフレットの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現1)	井坂 若栗 佐藤
12	表計算ソフトExcel（1）	Excelを使用して基本的な表計算及びグラフについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現3)	井坂 若栗 佐藤
13	表計算ソフトExcel（2）	Excelを使用して複雑なグラフの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現3)	井坂 若栗 佐藤
14	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（1）	PowerPointを使用してプレゼンテーション用スライドの作成について学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現4)	井坂 若栗 佐藤
15	プレゼンテーション作成ソフト PowerPoint（2）	PowerPointを使用してアニメーションについて学ぶ。	演習・課題	予習：配布資料を読んでくる。（120分） 復習：提出課題を作成する。（120分）	技能・表現4)	井坂 若栗 佐藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	医療系のための情報リテラシー Windows11・Office2021対応	佐藤・川上編	共立出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				30%		10%	
備考								前半9回は毎回確認テスト等を行う

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、Teams、メール等を利用して受付・回答をする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高津 徳行	月17:00～19:00 除：教授会開催日 火～金 18:30～19:30	薬学教育センター（F棟B101a）	takatsu@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE212）	wakakuri@nupals.ac.jp
佐藤 里佳子	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）	rsato@nupals.ac.jp

【その他】

10回目以降の質疑応答は、配布された時間割に明記されている授業時間に、Microsoft teams上での当科目のチーム内でのチャット等を活用して受付実施する。
成績評価方法・基準に関する補足：「その他」は毎回確認テスト等を行って評価する。欠席はこの確認テスト等を受けていないものとして扱われる。成績表各順の詳細は、必要に応じて説明する。
前期で使用した授業資料は全て後期に実施される情報リテラシー応用でも利用します。

英語I English I	授業担当教員		大竹 芳夫	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	◎Ⅱ / A-7、E-1			

【授業概要】

看護の実践に必要な英語力を涵養するために、医療と看護に関わる内容の英語教材を使用して、英語のリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能を総合的に伸長する。

【実務経験】

公立高等学校教員としての勤務経験をもとに、高等学校と大学の円滑な接続を意識しながら本授業を行う。

【到達目標】

1)医療と看護分野の基本的な英語の語彙や表現を理解できる。2)平明な英語の文章を読んで正確に理解できる。 3)平明な英語の会話やアナウンスを聴いて正確に理解できる。 4)英語音声の特徴に留意しながら英文を音読できる。 5)自然な英語の文章を書くことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション	教材の特徴・意義と使用方法，授業の進め方，評価方法などについての説明 講義（「言語表現に映し出される日英語話者の発想と文化」），問題演習	講義・演習	復習：配布資料の内容を読み直しておくこと。次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
2	Unit 1 What Worries Barbara? (1)	リスニング練習，読解(1)，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：命令文	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
3	Unit 1 What Worries Barbara? (2)	読解(2)，医療用語の理解：医療関係の職業，作文：履歴書，学校での友達との会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
4	Unit 2 That’s Mama’s Hair! (1)	リスニング練習，読解(1)，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：be動詞，have	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
5	Unit 2 That’s Mama’s Hair! (2)	読解(2)，医療用語の理解：身体（外側），作文：身体測定，病院での同僚との会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
6	Unit 3 Menstrual Problems (1)	リスニング練習，読解(1)，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：現在分詞～ing	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
7	Unit 3 Menstrual Problems (2)	読解(2)，医療用語の理解：身体（骨，筋肉），作文：お見舞いのカード，健康診断の会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
8	Unit 4 Right or Left? (1)	リスニング練習，読解(1)，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：疑問詞which	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
9	Unit 4 Right or Left? (1)	読解(2)，医療用語の理解：身体（内臓），作文：食品成分表，電話の会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
10	Unit 5 How to Give First Aid (1)	リスニング練習，読解(1)，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：名詞の形（単数形・複数形など）	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
11	Unit 5 How to Give First Aid (2)	読解(2)，医療用語の理解：病院の科の名称，作文：健康に関するアンケート，救急の際の電話の会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
12	Unit 6 Make a Restroom More Accessible to LGBT People	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：句動詞，医療用語の理解：病院関連，作文：五感クイズ，診察での会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（201分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
13	Unit 7 Are You Being Abused?	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：動名詞～ing，医療用語の理解：症状（痛みなど），作文：精神障害者検査，病院の受付での会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
14	Unit 8 Giving Blood	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：基本的な文の形：SVCとSVOC，医療用語の理解：病名，作文：臓器移植ドナーカード，病院の待合室での患者と看護師の会話	講義・演習	予習：教科書の学習した内容を見直して定期試験の準備をする。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
15	定期試験及び解説	定期試験及び解説	講義・試験	復習：試験後に不明箇所を再学習して理解に努める。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹

【教科書・参考書】

種別	書名		著者・編者	出版社
教科書	Take Care! [Third Edition] Communicative English for Nursing and Healthcare（『医療と看護の総合英語』[三訂版]）		笹島 茂 著/ 山崎朝子 著	三修社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				30%			10%
備考					適宜行われる小テスト			授業中の発表内容

【課題に対するフィードバック方法】

発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テストは解答・解説と点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深める。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
大竹 芳夫	講義の前後の時間帯	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

英和辞典や英英辞典（電子辞書等も可）を授業時に持参すること。
各回の準備学習の具体的内容については初回授業時に指示する。
定期試験、適宜行われる小テストの試験範囲を熟読し、試験後は不明箇所を再学習し、理解に努めること。

人体の構造と機能I	授業担当教員	岩田 武男		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎III / B-2、C-2、3、4			

【授業概要】

人体はいくつかの器官系で構成されており、それらの器官系が協調して個体レベルでの恒常性機能の調節を行っている。この授業では人体を構成する各器官系の構造と機能および生体の恒常性維持機構について学び、疾患の成り立ちや診断・治療の理解に必要な基礎知識を修得する。

【到達目標】

- 1) ヒトの身体を構成する主な臓器の名称と体内での位置を説明できる。
- 2) 組織、器官を構成する代表的な細胞の種類・特徴を説明できる。
- 3) 神経細胞の構造と興奮・伝導について説明できる。
- 4) 神経系の構成と機能について説明できる。
- 5) 各感覚器の構造と機能について説明できる。
- 6) 骨、関節の構造と機能について説明できる。
- 7) 各筋組織の構造と筋収縮のしくみについて説明できる。
- 8) 循環器の構造と体液循環について説明できる。
- 9) 血液の成分と機能について説明できる。
- 10) 皮膚の構造と機能について説明できる。
- 11) 呼吸器の構造とガス交換について説明できる。
- 12) 消化器の構造と栄養素の消化・吸収について説明できる。
- 13) 泌尿器の構造と尿の生成について説明できる。
- 14) ホルモンの基本的性質と機能について説明できる。
- 15) 主な内分泌器官の構造と機能について説明できる。
- 16) 主な恒常性調節機構（血糖値調節、体液調節、血圧調節、体温調節、カルシウム代謝調節）について説明できる。
- 17) 生殖器の構造と機能および生殖のしくみについて説明できる。
- 18) 免疫について説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	人体の構成	解剖学用語、人体構造の階層構造	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	1,2	岩田
2	神経細胞の構造と機能	神経細胞の構造、活動電位の発生と伝導、情報伝達	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	2,3	岩田
3	中枢神経系	大脳、小脳、脳幹、脊髄の構造と機能	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	3,4	岩田
4	末梢神経系	運動神経、感覚神経、自律神経の特徴と情報伝達	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	3,4,5	岩田
5	感覚器系	感覚の種類、目、鼻、舌、耳の構造と機能	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	4,5	岩田
6	骨・筋系	骨・関節の構造と機能、筋の構造と筋収縮のしくみ	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	6,7,16	岩田
7	循環器系	心臓、血管、リンパ管の構造と機能	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	8,9,16	岩田
8	血液・皮膚	血液成分と機能、皮膚の構造と機能	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	9,10	岩田
9	呼吸器系	肺、気管の構造と機能、ガス交換のしくみ	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	11	岩田
10	消化器系	消化器系の構造と機能、栄養素の消化と吸収	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	12	岩田
11	泌尿器系	腎臓、膀胱の構造と機能、尿生成のしくみ	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	13	岩田
12	内分泌系	主な内分泌器官の構造と機能、ホルモンの基本的性質	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	14,15,16	岩田
13	生体の恒常性調節	血圧調節、体液調節、血糖値調節、体温調節、カルシウム代謝調節	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	4,6,8,11-16	岩田
14	生殖器系	生殖器の構造と機能、生殖のしくみ	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	17	岩田
15	免疫	免疫のしくみ	講義	予習：教科書の該当部分と配布資料を読む。（90分） 復習：確認問題を解けるようにする。（90分）	18	岩田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	グラフィカル機能形態学 第2版	馬場 広子	京都廣川書店
参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1	坂井 建雄、岡田隆夫	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
岩田 武男	月～金 17:00~19:00 時間外も随時可。	機能形態学研究室（F棟502c）	iwata@nupals.ac.jp

【その他】

- ・講義の連絡や資料配信はMicrosoft Teamsを用いて行うので必ず登録の上、定期的に確認すること。
- ・事前に資料（レジメ）を配信するので読んでおくこと。
- ・講義内容の確認問題を配布（配信）するので、解けるようにしておくこと。
- ・成績評価：総合で60%以上を合格とする。

人体の構造と機能II	授業担当教員	渡辺 啓介		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程
	◎Ⅲ / A-2, A-3, A-8, C-3	

【授業概要】

【到達目標】

【授業計画】

【教科書・参考書】

【成績評価方法・基準】

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
渡辺 啓介		生体構造学研究室（F棟202a）	

医療と看護の歴史 History of Medicine and Nursing		授業担当教員		定方 美恵子・戸田 肇		
		補助担当教員				
		区分		専門基礎必修科目		
		年次・学期		1年次 前期	単位数	1単位
看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）			保健師課程		
	◎Ⅰ、○Ⅲ、Ⅳ / A－1、7、B－2、3、C－1					

【授業概要】

医療の始まりから現代医療・医学とその発展に至る歴史を学び、人々や医療が「健康と病気、人が生きることや死ぬこと」に対してどう関わってきたのか理解することをねらいとする。そのために総論として、古代から今日までの医学史・医療史を、各時代の出来事や人物に焦点を当て学修する。各論として、伝染病との闘い、精神医療の歴史、看護の歴史、助産の歴史などのテーマを設定し、それぞれの歴史を学修する。医療、看護の職業および学問としての確立・発展までの歴史を学ぶとともに、今後の医療・看護の在り方、看護学の方向性について考える機会とする。

【実務経験】

（定方）病院で6年間の実務経験、看護教員として40年間看護教育にあたりとともに保健医療機関で実習指導を行った経験を持つ。この経験を生かして、本科目「医療と看護の歴史」の講義を行う。
（戸田）看護実践、看護学教育の経験を40余年有する。臨地の側から教育の側と共同して学生を支える実習指導者の育成に25余年責任者として取り組んできた実務経験も踏まえ、「看護系人材として求められる基本的な資質・能力」を培う講義を行う。

【到達目標】

1) 医療とは何か、医療の基本は何かを説明できる。2) 人々は健康と病気や、生きることや死ぬことにどう関わってきたのか考えることができる。3) 古代から現代までの医学史・医療史の出来事を理解し、文献・資料を使って、関心をもった出来事やテーマを調べることができる。4) 古代から現代までの医学史・医療史の出来事で関心をもったテーマを調べ、自分の意見を論じることができる。5) 現代の医療と未来への展望に関わるテーマを理解し、文献・資料を使って調べ、関心をもった出来事や展望への意見を述べることができる。6) 看護の職業および学問としての確立・発展の歴史を理解できる。7) 今後の医療や看護のあり方、看護学の方向性について問題意識をもち、探究するきっかけとすることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 医療とは何か、健康とは何だろうか	歴史を学ぶ前提として、医療とはだれのもののなのか、患者の権利や人権の視点から投げかける。医療として重視されることや医療職に求められるプロフェッショナルリズムについて講義し、医療関係者としての心構えを学ぶ医療概論として位置付ける。看護職に求められる役割について触れる。また、健康と病気、生きることや死ぬことについて人や医療のかかわりはどのようなものだったのかを講義する。	講義	予習：医療現場の今日的課題について新聞、書籍、テキストで予習する。(30分) 復習：講義プリントとテキストを用い、医療と健康について理解を深める。(60分)	1)	定方
2	古代から中世までの医療の歴史（1）	古代から中世までの医療について生命誌の観点から講義する。	講義	予習：シャニダール洞窟で発掘されたナンディ、人間の進化、他の動物との相異性など医療誕生に関係すると思われる事象について一つ選び調べる。(45分) 復習：関心をもった出来事についてさらに資料を調べ考察する。(45分)	2)	戸田
3	古代から中世までの医療の歴史（2）	古代から中世までの医学の転換点となる出来事を踏まえ、近代医学の誕生と抱えた矛盾について講義する。	講義	予習：資料「医学と医療の間」村上陽一郎を読み、近代医学の誕生に至るまでの古代から近代までの関心をもった出来事について一つ選び調べる。(45分) 復習：関心をもった出来事についてさらに資料を調べ考察する。(45分)	3)	戸田
4	医療がたどってきた道と未来への展望（1）	近代医学の誕生と感染症対策から、非感染症疾患の増加に関連する医療の課題について講義する。	講義	予習：感染症対策から生活習慣病の推移を事前に調べる。(30分) 復習：生活習慣病の推移を示すデータならびに生活上の課題から現代医療の課題を考察する。(60分)	4)	定方
5	医療がたどってきた道と未来への展望（2）	健康に影響をもたらす環境問題や、ゲノム医学、臓器移植と再生医療、医療・情報テクノロジーの活用に関わる医療の課題について講義する。	講義	予習：環境問題と医療の歴史について、ゲノム医学、臓器移植と再生医療から、関心をもった出来事を選び、事前に調べる。(30分) 復習：関心をもった出来事についてさらに資料を調べて、考察する。(60分)	5)	定方
6	医療がたどってきた道と未来への展望（3）	薬害に見る利害関係の医療への影響、補完代替医療と全人的統合医療、科学的根拠とこれからの医療に関わる医療の課題について講義する。	講義	予習：薬害、補完代替医療、科学的根拠と医療から関心をもった出来事を選び、事前に調べる。(30分) 復習：関心をもった出来事についてさらに資料を調べて、考察する。(60分)	6)	定方
7	看護の歴史	近代看護の確立と展開から今日の看護に至るまでの出来事と、看護職の専門職としての確立に至るまでの歴史を講義する。	講義	予習：F.ナイチンゲール、高木兼寛、森鷗外、看護系大学の推移など看護に関係する事象について一つ選び調べる。(60分) 復習：近代看護の確立について関心をもった出来事を調べてまとめる。(60分)	7)	戸田
8	医療システムの現状を理解し、これからの医療・看護を考える	医療の機能分化、地域包括ケアシステム、医療保険制度などの、現在の医療システムを説明するとともに、今後の医療や看護のあり方、看護学の方向性について講義する。	講義	予習：医療現場の今日的課題について、今までの講義、新聞、書籍、テキストで予習する。(30分) 復習：講義プリントとテキストを用い、医療システムについて理解を深める。(60分)	7)	戸田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	学生のための医療概論 第4版 講義プリント・資料を配布	小幡元、近藤克則、黒田研二、千代豪昭	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						第3回、第4回、第5回、第6回、第7回の講義課題について通常レポート（各10点、合計50点）を課します。 期末レポートでは、講義中に指示する方法に則り、自分独自の切り口や視点を明確に述べて記載します（50点）。		

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの集計結果を定期試験期間後に開示

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
定方 美恵子	月・金 12時30分～13時	新津キャンパス（J205）	sadakata@nupals.ac.jp
戸田 肇	月・木 12時30分～13時	新津キャンパス（J206）	toda@nupals.ac.jp

【その他】

各授業は配布されるプリント主体で行う。
【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポート評価（100点満点）のうち60点以上を合格とする。

臨床心理学 Clinical Psychology	授業担当教員		小出 恵子	
	補助担当教員			
	区分		専門基礎必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	◎Ⅱ、○Ⅲ / A－4、B－2、C－2、D－1、E-3			

【授業概要】

日常的な患者との関わりが求められ、チーム医療の一員としても重要な役割を果たす現代の看護師にとって、人の心や関係性について学ぶことは非常に重要である。この授業では、心の働きやライフサイクル、人格理論など臨床心理学の基礎知識を学習するとともに、現場実践における人間関係の在り方についても考える。

【実務経験】

精神科病院の経験、学校教育および学校管理（経営）の経験があり、現在は学校臨床およびオンラインによるカウンセリングを実践しています。また、「人間関係論」の講義経験があります。

【到達目標】

- 1) 臨床心理学に関する基本的な知識を学習し理解を深める。
- 2) 習得したことがらを現場実践にどのように応用し活かしていくことができるのか自ら考えることができる。
- 3) 自分自身との付き合い方や人間関係について関心を持ち日常生活に活かすヒントを得る。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 臨床心理学とは何か	授業全体の概要について説明する。 臨床心理学の概要について、「何を目的としているか」「何が分かるのか」という視点で、その構造や歴史を概観する	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
2	臨床心理学の主な理論 実験心理学 精神分析学ほか	心の問題の理論的な理解、その解決のための援助方法など、実践に基づく学問としての「臨床心理学」の幾つかの理論について概観する。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
3	こころの仕組み	心のしくみについて、その発達に関わる理論を通して知り、心はどのような働きをしているのかについて考える。自我の役割の一つとしての防衛機制やフロイト・ユングが提唱した無意識の概念についても触れる。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
4	心理査定	心の問題の援助のためには、何がどう問題かを評価する必要がある。心理検査にはどのようなものがあり、何をすることができるのかを理解し、実際に検査を体験してみる。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
5	こころの問題と理解Ⅰ	心とはなにか、私たちはなぜ悩むのか、また心理的な症状はどのようにして現れるのか、さまざまな心の問題にふれて考えていく。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
6	こころの問題と理解Ⅱ	ここではうつ病について取り上げ、症状を把握するほかに、どのような人が発症しやすいのか、予防やうつ病の人に対する接し方なども学習する。よく扱われる精神疾患についてもふれていく。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
7	心理療法のいろいろ カウンセリング	心理療法にはどのような方法があるのか、実践されている方法について概観する。カウンセリングを取り上げ、どのような目的、構造で行われるのかについて学び、実際に体験してみる。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出
8	さまざまなコミュニティと臨床心理学	個人対個人のみならず、さまざまな社会的場面や状況、環境の中で用いられる臨床心理学について、これまでの振り返りとともに整理する。	講義	予習：特になし。 復習：配布資料を見直し、講義内容をまとめる。(100分)		小出

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリントを配布する		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					70%	30%		
備考						各回のレポート6回分		

【課題に対するフィードバック方法】

試験問題の模範解答をCyber-NUPALSにアップする。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小出 恵子	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

看護学原論 Principles of Nursing	授業担当教員	戸田 肇		
	補助担当教員			
	区分	専門教育必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ、○Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ/A－1、2、3、4、5、6、7、8、9、B－1、2、3、C－1、2、3、4、5、D-1、2、3、4、6、E-1			

【授業概要】

看護はなぜ人間社会に生まれたのかに問いをかけ、看護学への関心が高まるように、身近な体験や看護実践など具体的な事象をもとに、基幹概念である人間・健康・生活・看護について理解する。そして健康の法則に沿って“対象者のもてる力が発揮されるよう生活過程を整える看護”について理解を深め、法的基盤を重ね、看護の専門性と社会的役割、発展の方向性について想い描けるようにする。

【実務経験】

看護実践、看護学教育の経験を40余年有する。臨地の側から教育の側と共同して学生を支える実習指導者の育成に25余年責任者として取り組んできた実務経験も踏まえ、「看護系人材として求められる基本的な資質・能力」を培う講義を行う。

【到達目標】

1. 看護の歴史の変遷を踏まえ、現代社会における看護の位置づけと専門性について述べるができる。
2. 看護学に共通する概念や法則の成立過程を辿りながら科学的な思考の基盤を形成することができる。
3. 看護の対象者に人間的な心のこもった関心が注げる基盤を形成することができる。
4. 看護の専門性と社会的役割、発展の方向性について自分の考えを述べるができる。
5. グループワークを通して伝える力、聴く力、協働する力、プレゼンテーションする力を身につけることができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	看護学原論の位置づけ	・なぜ看護は人間社会に生まれたのか、看護学の学修の方向性について理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 5.	戸田
2	近代看護の創始者フロレンス・ナイチンゲールと現代	・F.ナイチンゲールをはじめとする看護諸理論の位置づけと構築過程を、理論家の実践フィールドと時代背景を踏まえて知り、看護学に共通する概念があることを理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 5.	戸田
3	看護学の基幹概念（1）対象論①	・人間とは何か、看護の対象である人間とはどのような存在かを具体的な事象をもとに理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 5.	戸田
4	看護学の基幹概念（2）対象論② 目的論①	・病気とは何か、健康とは何かを具体的な事象をもとに理解する。 ・目的論を対象論との関係において理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 5.	戸田
5	看護学の基幹概念（3）目的論②	・看護とは何か（看護の本質）を踏まえ、対象者の健康の法則を支援する看護の法則が存在することを具体的な事象をもとに理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 5.	戸田
6	看護学の基幹概念（4）対象論③	・生活とは何か、ライフサイクルと日常生活力について具体的な事象をもとに理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 5.	戸田
7	看護学の基幹概念（5）対象論④	・生活とは何か、ライフサイクルと日常生活力について具体的な事象をもとに理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認 課題：自己の全体像・日常生活力の把握（60分）	1. 2. 5.	戸田
8	看護学の基幹概念（6）方法論①	・ライフサイクルにおける発達段階の節目に注目して全体像と日常生活力を描き、自分のもてる力を把握する。 ・看護者として対象者のもてる力を把握するために必要不可欠な能力“相手の立場に立つ”とはどうすることかについて理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認 課題：もう一人の自分（60分）	1. 2. 3. 5.	戸田
9	看護学の基幹概念（7）方法論②	・事例を教材に、看護の本質に沿って対象者のもてる力が発揮されるよう生活過程を整える看護を通して、対象者に知的で、心のこもった人間的な関心を注いで関わるとはどうすることかを理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
10	看護学の基幹概念（8）方法論③	・事例を教材に、看護の本質に沿って対象者のもてる力が発揮されるよう生活過程を整える看護を通して、対象者に知的で、心のこもった人間的な関心を注いで関わるとはどうすることかを理解する。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
11	看護学の基幹概念（9）方法論④	・事例を教材に、全体像を描き、対象特性を捉え、反応を観察しながら、その人のもてる力が発揮されるよう生活過程を整える、対象者に三重の関心を注ぐ看護について理解を深める。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
12	看護の専門性と社会的役割（1）	・事例を教材に、対象者に三重の関心を注ぎながら関わっている看護職者と多職種との連携・協働の実際を知る。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
13	看護の専門性と社会的役割（2）	・看護に関する法的基盤の観点から、看護の専門性と社会的役割について想い描けるようにする。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
14	看護の専門性と社会的役割（3）	・看護活動の場、チーム医療における連携・協働の観点から、看護の専門性と社会的役割、発展の方向性について想い描けるようにする。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田
15	まとめ： ・再考：看護とは何か ・看護学的なものの見方・考え方	・看護学に共通する概念や法則を、具体的な事象とつなげて学ぶ過程を通して、看護とは何か、看護学的なものの見方・考え方とは何かについて、その基礎を身につけ、看護学生として“ありがたい姿”を想い描く。	講義	予習：教科書、講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1. 2. 3. 4. 5.	戸田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	〔改訂版〕 看護学原論講義	薄井坦子，（戸田肇）	現代社
教科書	看護覚え書	F.ナイチンゲール， 湯横ます，薄井坦子他訳	現代社
参考書	〈連載〉看護実践能力を育む〔4〕《対談》対象特性をつかみ,相互浸透を深める	養老孟司，戸田肇	文光堂 Quality Nursing, 9(10)
参考書	看護学概論 第5版	田中幸子編	医歯薬出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%					20%		20%
備考						課題レポート		バズセッション、リアクションペーパー

【課題に対するフィードバック方法】

課題レポート、リアクションペーパーについては、疑問が解消され、学修の方向性が見出せるように授業の中でフィードバックを行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
戸田 肇	月・木 12時30分～13時	新津キャンパス J206	toda@nupals.ac.jp

【その他】

授業は、教科書や参考書をもとにした講義プリントを中心に行う。プリントを読んで積極的に授業に参加し、教授－学習過程の中で看護学的なものの見方・考え方が深まることを期待しています。

【成績評価基準】定期試験、課題レポート、バズセッション、リアクションペーパー（100点満点）のうち60点以上を合格とする。詳細は授業中に開示する。

基礎看護学実習Ⅰ Basic Nursing Practice I	授業担当教員	戸田 肇・石綿 啓子・定方 美恵子・古地 順子・小山 歌子・川崎 久子・大野 直子・西山 和代・山本 淳子・橋本 有紀・五十嵐 真理・諸橋 麻紀・巳亦 圭子・ブロード 裕子・野原 真理・平山 恵美子・成澤 幸子・中垣 紀子・日下 修一・齋藤 智子・坪川 麻樹子・明神 一浩・酒井 禎子・清野 由美子		
	補助担当教員			
	区分	専門教育必修科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ、○Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ/A－1、2、3、4、5、6、B－1、2、3、C－1、2、3、4、5、E-1、F-1			

【授業概要】

医療機関における看護師をはじめとする医療従事者の活動場面を見学し、看護チーム、多職種との連携・協働などの実際を知り、対象者のもてる力に働きかけ、健康的な生活が実現できるよう支援する看護の意義・役割について考える基盤づくりをする。

【実務経験】

（戸田）看護実践、看護学教育の経験を40余年有する。臨地の側から教育の側と共同して学生を支える実習指導者の育成に25余年責任者として取り組んできた実務経験も踏まえ「看護系人材として求められる基本的な資質・能力」を培う実習指導を行う。

（石綿）看護師として病院に16年間勤務した経験を活用して実習指導を行う。

（川崎）看護師として、急性期病院に20年勤務の経験を持ち、その経験を活用して授業を展開する。

（定方）病院で6年間の実務経験、看護教員として40年間の看護教育の経験を持つ教員が、この経験を活かして実習指導を行う。

【到達目標】

1）療養環境としての病院、病棟、病室の特徴を述べることができる。

2）看護チーム、多職種との連携・協働について説明することができる。

3）対象者のもてる力に働きかけ、健康的な生活が実現できるように支援する看護の意義・役割について説明することができる。

4）看護学生としての自覚をもって実習に臨むことができる。

5）振り返りを通して、実習の学びと今後の課題を明確に示すことができる。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション	基礎看護学実習Ⅰの位置づけ、看護学実習における倫理的配慮、感染症対策を含む安全管理について学ぶ。医療従事者の種類と特徴、医療チームにおける看護師の役割について復習して臨み、実習病院および病棟の概要の説明を受ける。	実習	予習：実習病院・病棟の特徴、看護師をはじめとする医療従事者について調べる。臨地実習共通要項、基礎看護学実習Ⅰ実習要項を読む（50分） 復習：オリエンテーションでの学びを整理する（40分）	1) 2) 3) 4)	石綿 戸田 川崎 大野 他
2	看護師と共に行動	病院内の見学を通して、看護チームや多職種が患者を中心に連携・協働していることを学ぶ。看護師と共に行動し、対象者の入院生活の様子を知り、対象者のもてる力に働きかけ、健康的な生活が実現できるように支援している看護の意義や役割について学ぶ。	実習	予習：医療従事者の種類と特徴、医療チームにおける看護師の役割を整理し、看護師と共に行動するにあたっての実習計画を立案する（30分） 復習：見学場面からの学びを整理する（60分）	1) 2) 3) 4)	石綿 戸田 川崎 大野 他
3	看護師と共に行動	看護師と共に行動し、対象者への看護師の関わりと、対象者の反応を観察し、看護師は健康的な生活が実現できるように、どのような想いや考えのもと対象者のもてる力に働きかけているのかを知り、看護することの意味について考える。	実習	予習：援助場面における看護の意味を整理し、実習計画を立案する（30分） 復習：見学場面からの学びを整理する（60分）	1) 2) 3) 4)	石綿 戸田 川崎 大野 他
4	看護師と共に行動	看護師と共に行動し、対象者への看護師の関わりと、対象者の反応を観察し、看護師は健康的な生活が実現できるように、どのような想いや考えのもと対象者のもてる力に働きかけているのかを知り、看護することの意味について考える。	実習	予習：援助場面における看護の意味を整理し、実習計画を立案する（30分） 復習：見学場面からの学びを整理する（60分）	1) 2) 3) 4)	石綿 戸田 川崎 大野 他
5	まとめ（振り返り）	実習を振り返り、医療機関における看護の意義・役割についてまとめ、今後の課題を明確にする。	実習	予習：実習記録を整理し、実習の学びと今後の課題についてまとめる（30分） 復習：振り返りを通して実習記録を整理し、実習の学びと今後の課題についてレポートを作成する（60分）	1) 2) 3) 4) 5)	石綿 戸田 川崎 大野 他

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	基礎看護学実習Ⅰ実習要項 臨地実習共通要項		

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合								100%
備考								実習目標に沿って評価する

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
戸田 肇	月～金 12時30分～13時	西新潟中央病院キャンパス（213）	toda@nupals.ac.jp
石綿 啓子	講義終了後	新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322）	ishiwata@nupals.ac.jp
定方 美恵子	月・金 12時30分～13時	西新潟中央病院キャンパス（108学部長室）	sadakata@nupals.ac.jp
古地 順子	月～金曜日12：10～13：00	西新潟中央病院キャンパス（318）	kochi@nupals.ac.jp
小山 歌子	月・火曜日12:10～13:00	西新潟中央病院キャンパス（317）	koyama@nupals.ac.jp
川崎 久子	水曜日 16：00～17：00	西新潟中央病院キャンパス（323）	hisako-kawasaki@nupals.ac.jp
大野 直子	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（324）	n-ohno@nupals.ac.jp
西山 和代	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（211）	k-nishiyama@nupals.ac.jp
山本 淳子	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（324）	
橋本 有紀	8:30～17:00	西新潟中央病院キャンパス（214）	y-hashimoto@nupals.ac.jp
五十嵐 真理	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（324）	m-ikarashi@nupals.ac.jp
諸橋 麻紀	実習終了後	西新潟中央病院キャンパス（214）	morohashi@nupals.ac.jp
巳亦 圭子	水曜日 13時～15時	西新潟中央病院キャンパス（211）	k-mimata@nupals.ac.jp
ブロード 裕子	水曜日 13時～15時	西新潟中央病院キャンパス（324）	h-broad@nupals.ac.jp
野原 真理	火曜日13：00～17：00	西新潟中央病院キャンパス（314）	nohara@nupals.ac.jp
平山 恵美子	水曜日13:00～17:00	西新潟中央病院キャンパス（319）	emikohirayama@nupals.ac.jp
成澤 幸子	平日：17:00～19:00	西新潟中央病院キャンパス（311）	narisawa@nupals.ac.jp
中垣 紀子	水曜日13時～17時	西新潟中央病院キャンパス（321）	nakagaki@nupals.ac.jp
日下 修一	火曜日・金曜日 10：30～13：00	西新潟中央病院キャンパス（212）	kusaka@nupals.ac.jp
齋藤 智子	火・水曜日 12：10～16:30	西新潟中央病院キャンパス（313）	tomokosaito@nupals.ac.jp
坪川 麻樹子	水曜日13:00～17:00	西新潟中央病院キャンパス（320）	tsubokawa@nupals.ac.jp
明神 一浩	水曜日13：00～17：00	西新潟中央病院キャンパス（312）	myoujin@nupals.ac.jp
酒井 禎子	平日:17:00～18:00	西新潟中央病院キャンパス（315）	yoshikosakai@nupals.ac.jp
清野 由美子	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（316）	

【その他】

【成績評価基準】実習目標に沿って評価（100点）のうち60点以上を合格とする。

地域・在宅看護概論	授業担当教員		小山 歌子	
	補助担当教員			
	区分		専門教育必修科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	◎Ⅰ、Ⅴ、○Ⅲ / A－5、6、7、B－1、2、C－2、D－3、4、6、E－1、2			

【授業概要】

地域・在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、地域・在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念、原理原則を学ぶ。地域・在宅看護の対象の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。さらに、在宅ケアにおけるマネジメントや地域包括ケアシステムの基本、関係機関・職種との連携の必要性、社会資源を学ぶ。

【実務経験】

行政保健師、地域保健課長としての実務経験を活かし、本科目「地域・在宅看護概論」の講義を行う。

【到達目標】

1. 地域・在宅看護の変遷とその社会的背景について説明できる
2. 地域・在宅看護の目的と基本理念、関連する概念、原理原則について理解できる
3. 地域・在宅看護の対象者の特性とその支援の基本を理解できる
4. 在宅ケアにおけるケアマネジメントや関係機関・関係職種間の連携を理解できる
5. 在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる
6. 現在の訪問看護制度の基本を理解できる。
7. 地域・在宅における安全と危機管理を理解できる
8. 地域・在宅看護の対象に対する看護過程ならびにケアマネジメントの基本を理解できる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 地域・在宅看護の概念(1)	1. 科目概要の説明 2. 地域と生活(生活のとらえ方、地域のとらえ方、地域、生活と健康の関係性) 3. 地域・在宅看護の背景	講義	予習：シラバスを読み、履修上の課題を明らかにしておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1	小山
2	地域・在宅看護の概念(2)	1. 地域・在宅看護の基盤 2. 地域療養を支える在宅看護の役割・機能 3. 地域・在宅看護を展開するための基本理念 4. 地域・在宅看護における倫理	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	2	小山
3	在宅療養者と家族の支援(1)	1. 地域・在宅看護の対象者 2. 在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	3	小山
4	在宅療養者と家族の支援(2)	1. 在宅療養の場における家族のとらえ方 2. 在宅療養者の家族への看護 3. 事例：療養者と家族へのケアー腹膜透析の独居療養者ー	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	3	小山
5	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(1)	1. 地域アセスメントとその意義 2. 地域アセスメントの活用 3. 地域アセスメントの方法	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	4・5	小山
6	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(2)	1. 地域アセスメントの実際 事前学習の発表 2. 地域アセスメントから地域包括システムへの展開	講義	予習：学生が住んでいる地域の特徴を調べてくる。（150分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（60分）	4・5	小山
7	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(3)	1. 地域包括ケアシステムとは 2. 生活の場に応じた看護とサービス提供機関 3. 地域包括支援センターの機能・業務	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	4・5	小山
8	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(4)	1. 療養の場の移行に伴う看護(医療機関における入退院の連携、医療施設や介護施設との連携) 2. 地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	4	小山
9	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護(5)	1. 在宅看護におけるケアマネジメント（看護が担うケアマネジメント、介護保険制度におけるケアマネジメント、ケアマネジメントの過程等） 2. 事例：地域の課題解決に発展したケース	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	4	小山
10	地域療養を支える制度(1)	1. 社会資源の活用 2. 医療保険制度・後期高齢者医療制度・介護保険制度・生活保護制度等	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	5	小山
11	地域療養を支える制度(2)	1. 障害者に関連する法律 2. 子どもの在宅療養を支える制度と社会資源 3. 在宅療養者の権利擁護の制度と社会資源	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	5	小山
12	在宅療養を支える訪問看護(1)	1. 訪問看護の特徴 2. 在宅ケアを支える訪問看護ステーション(開設基準、従事者、対象者、サービス内容等)	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	6	小山
13	在宅療養を支える訪問看護(2)	1. 訪問看護サービスの展開(訪問看護における看護過程の特徴、訪問看護過程の実際) 2. 訪問看護の記録 3. 事例：療養場所の移行や病状の変化に応じた訪問看護	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	6・8	小山
14	在宅看護における安全と危機管理	1.在宅看護における安全と健康危機管理 2. 日常生活における安全管理 3. 災害時における在宅療養者と健康危機管理 4. 事例：ALSの在宅療養者と災害対策	講義	予習：教科書の該当ページを学習しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	7・8	小山
15	まとめ	1. 在宅看護の先駆的取り組み 2. これからの地域・在宅看護発展に向けて	講義	予習：14回までの講義を通して疑問点等について整理しておく（120分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（60分）	2・3・4・5・6	小山

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」地域・在宅看護論①	臺有桂、石田千絵、山下留理子	メディカ出版
参考書	国民衛生の動向	一般財団法人 厚生労働統計協会	一般財団法人 厚生労働統計協会

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%					20%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容に関するものは、授業に時間を設け解説する。
授業に関して寄せられた要望は、Potal NUPALSおよびMicrosoft Teamsを利用して回答する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小山 歌子	月・火曜日12:10～13:00	西新潟中央病院キャンパス（317）	koyama@nupals.ac.jp

音楽と健康 Music & Health Science	授業担当教員		中島 淑恵	
	補助担当教員			
	区分		教養選択科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	○Ⅰ、Ⅱ / B-2、C-5			

【授業概要】

看護の対象となる人々の身体，心および社会性に，音楽がどのような影響があるか知り，一部体験しながら音楽療法の定義，目的，対象，方法について基礎的な知識を理解する．健康障害や健康増進，疾病や障害を持つ人たちへ音楽を用いた援助方法について学び，音楽によりもたらされる「健康」について考える．

【実務経験】

看護師として8年勤務後，音楽大学で音楽療法を学んだ．その後，音楽療法士として高齢者施設，障害児者施設でインターンを行った．音楽の効果に関する基礎研究と，音楽併用リハビリテーションの効果を検証しながら，大学病院，高齢者施設で音楽療法の実践と研究に従事した．2007年度より看護系大学で看護基礎教育に従事している．2008年度より国立看護大学校で音楽療法に関わる選択授業を担当している．現在は東京慈恵会医科大学医学部看護学科老年看護学の教員として，教育と，音楽併用リハビリの効果検証及び地域包括ケアシステムにおけるプログラムの構築に関わる研究を行っている．

【到達目標】

医療環境の中で，医療専門職者が対象の支援の目標を達成するための手段として音楽を用いる際に，科学的根拠に基づき活用し，成果を評価できる教養力・実践能力を養うことを目標とする．本科目では，実践能力に必要とされるコミュニケーション能力，問題発見解決力，地域社会への貢献力を涵養することを補完する．

- 1）音環境や音楽を構成する音について理解できる
- 2）音楽療法の歴史を知り，ツールとして音楽を用いる方略について理解できる
- 3）音，音楽の効果に関する科学的根拠について理解できる
- 4）医療・福祉・健康増進の場で行われる音楽療法の実際について理解できる
- 5）疾病をもつひとを健康に導くために音楽を用いる活動について理解し，実践方略について考えることができる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	音，音環境，音楽について	音響学的な知見に基づき，普段聴いている音・音楽について，その特性を理解する．ナイチンゲールは「病院は病人に害を与えないこと」として説いている．音環境から見た病院環境について理解を深める．	講義	予習：自分自身が興味関心がある音楽の音源（データ・楽譜・動画等）をみつけ，曲名やヒットした年を控え，好きな理由について考えてきてください（30分） 復習：音環境や音楽と看護の関係性について振り返ってください．（10分）	1）	中島
2	音楽の効果を体験する	【体験学習】受動的な音楽活動を通して，身体的，心理的な変化を可視化する．	演習	予習：第1回の講義で調べたことに加え，小学生時代，中学生時代，高校生時代，現在において，好きな曲とその理由について考えてきてください（30分） 復習：自分自身の好きな曲を聴いて，音楽の効果を実感してください．心身への効果と感じた状態や要因を整理してください．（30分）	5）	中島
3	音楽療法について	音楽療法の定義，目的，方法や対象，療法としての目的や期待する成果について理解を深める．	講義	予習：自分自身が思い描く音楽療法というのはどういうものか，インターネットや新聞・雑誌の記事を参照にして考えてきてください（30分） 復習：音楽療法とは何か，自分なりの理解を整理してください．（10分）	2）	中島
4	音楽・音楽療法のエビデンスについて	音楽や音楽療法に関わるエビッドメイキングと，最新の知見を国内・国外の研究の動向から学ぶ．コロナ禍における今後の音楽療法の在り方に関わるパラダイムシフトやシンギュラリティについて考える．	講義	予習：第2回で紹介された音楽の効果に関わる文献を一つ読み，それについて説明できるように，不明な用語・内容について知らべ論文内容を照会できるように準備してきてください（90分） 復習：講義の中で紹介した音楽や音楽療法の効果について振り返ってください．（10分）	3）	中島
5	音楽療法の実際1．医療の場	音楽活動や音楽療法が医療の場でどのように活用されているのか，事例を紹介する（緩和ケア，リハビリテーション，検査時の疼痛緩和ケア，小児の療育，精神科など）．具体例から医療・看護に併用する利点と欠点について考え，その効果と可能性について考える．	講義	予習：医療で行われている音楽活動や音楽療法の実際について，インターネットや新聞・雑誌の記事を参照に調べてきてください．（30分） 復習：講義の中で紹介した医療の場における音楽の活用方法や効果などについて振り返ってください．（10分）	4）5）	中島
6	音楽療法の実際2．福祉の場	音楽活動や音楽療法が福祉の場でどのように活用されているのか，事例を紹介する（認知症ケア，精神障害者作業所，肢体不自由児・発達障害児ケアなど）．具体例から福祉の中でケア支援として併用する利点と欠点について考え，その効果と可能性について考える．	講義	予習：福祉の場で行われている音楽活動や音楽療法の実際について，インターネットや新聞・雑誌の記事を参照に調べてきてください．（30分） 復習：講義の中で紹介した福祉の場での音楽の活用方法や効果について振り返ってください．（10分）	4）5）	中島
7	音楽療法の実際3．健康増進の場，その他	音楽活動や音楽療法が健康増進の場でどのように活用されているのか，事例を紹介する（介護予防，認知症予防，メンタルヘルス，教育場面など）．具体例から健康増進の手段として用いる利点と欠点について考え，その効果と可能性について考える．	講義	予習：健康増進を目的に行われている音楽活動や音楽療法の実際について，インターネットや新聞・雑誌の記事を参照に調べてきてください．（30分） 復習：講義の中で紹介した健康増進にかかわる音楽の効果や活用方法などについて振り返ってください．（10分）	4）5）	中島
8	音楽療法の可能性を検討する	【グループワークとレポート作成・提出】全7回の講義を通して習得した健康と音楽にかかわる知識について，グループで討議し，看護への応用について自身の考えをまとめる．	演習	予習：これまでの講義を通して学んだ音楽活動や音楽療法について復習してください．更に，看護への応用として用いられそうな場面や状況を考え，目的や方法について考えてみてください．（90分）	5）	中島

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	講義プリントを配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						80%	10%	10%
備考						中間30％・最終70％		グループワーク

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの集計結果を定期試験期間後に開示する

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
中島 淑恵	メールでご連絡ください		

【その他】

教科書・参考書は講義中に適宜紹介します。

【成績評価基準】グループワーク，レポートのルーブリックは講義で提示します。レポート内容，講義態度・貢献度，グループワークの成果で評価し，60点以上で合格とします。

心理学 Psychology	授業担当教員		内山 景衣	
	補助担当教員			
	区分		教養選択科目	
	年次・学期		1年次 前期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	○ I、II / A－4、B－2、C－2			

【授業概要】
知覚・認知・学習といった基礎心理学から人格・発達・臨床など応用心理学の領域まで様々な視点からから心の働きとその仕組みについて学習すると同時に自己理解を深める。
また、精神疾患の基礎知識やバーンアウト・シンドロームについても学び、自分自身の心やメンタルヘルスに関心を持つと同時に他者との関わりにおける心理学の重要性についても学ぶ。

- 【到達目標】
- 1) 対人援助職に携わる立場として心理学を学ぶ意義を説明することができる。
 - 2) 心の構造とそのはたらきや防衛機制について理解し、説明することができる。
 - 3) 感覚や知覚のプロセスについて理解し、私たちがどのように外界を捉えているのかについて説明することができる。
 - 4) 出生から青年期までの心の発達と各段階での課題や特徴について説明することができる。
 - 5) 類型論・特性論について理解するとともに自分自身の在り方や性格についても関心を持ち客観的に分析することができる。
 - 6) 身近な精神疾患に関する基本的な知識を学び、自己理解や他者援助に生かすことができる。
 - 7) バーンアウトのプロセスや燃えつきやすい人の特徴について理解し、自分自身との付き合い方、仕事との向き合い方について考えることができる。
 - 8) 心理療法の基本的な知識や考え方、話の聴き方について理解し、実際の対人関係に応用することができる。

【授業計画】						
回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 心の構造とはたらき	フロイトとユングの考え方を中心に心の構造についての理論に触れ、無意識がどのように私たちの生活に影響しているのか、心はどのような働きをしているのかについて学ぶ。	講義	予習：テキスト第9章・第10章、コラム34を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	1), 2)	内山
2	感覚と知覚 学習と動機付け	感覚の種類や知覚のプロセス、錯覚を含む諸現象について学ぶ。 古典的条件付けやオペラント条件付けといった学習理論を概観する。動機づけの仕組みについて理解する。	講義	予習：テキスト第2・第3章を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	3)	内山
3	ライフサイクルⅠ	エリクソンの心理社会的発達理論を軸に、乳児期から学童期までの心の発達について学習する。人生初期における基本的信頼感の獲得や愛着形成の重要性について理解する。	講義	予習：テキスト第7章、コラム22～24を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	4)	内山
4	ライフサイクルⅡ	思春期を含む青年期における心の特徴を学び、アイデンティティの確立や自立のテーマから「大人になること」について考える。通過儀礼の重要性や青年期を生きる難しさについても学ぶ。	講義	予習：テキスト第8章、コラム15を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	4)	内山
5	人格とパーソナリティ	「私」というものを形づくっている性格やパーソナリティといった概念について理解を深める。様々な人格理論（類型論や特性論）や性格を把握する方法（心理検査）などについて学習する。	講義	予習：テキスト第6章、コラム16・18・20・36を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	5)	内山
6	身近な精神疾患	大うつ病や統合失調症など身近な精神疾患についての基礎知識を学習する。また、症状や背景に関する学びを深め自身や他者のメンタルヘルスについて考える。	講義	予習：参考書第10章を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	6)	内山
7	バーンアウト・シンドローム	看護師が陥りやすいバーンアウトシンドローム（燃え尽き症候群）について学習し、自分自身の理解を深めながら予防について考える。	講義	予習：参考書第11章を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。心理検査を実際に体験してみて感じたこと、疑問に思ったことなどを資料やノートに記載しておく。（30分）	7)	内山
8	心理療法とカウンセリング	心を病むこと、心を癒すことについて臨床心理学的視点から考える。心理療法やカウンセリングの基本的な考え方や話を聴くことの重要性にも触れる。	講義	予習：テキスト第11章、コラム40を熟読する。（60分） 復習：授業内容をまとめ、理解度を確認する。講義の中で関心を持ったことや大切だと思った部分を資料やノートに記載しておく。（30分）	8)	内山

【教科書・参考書】				
種別	書名	著者・編者		出版社
教科書	初めての心理学	氏原寛・松原恭子・千原雅代編		創元社
参考書	系統看護学講座 基礎分野 心理学	山村豊・高橋一公著		医学書院

【成績評価方法・基準】								
評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】			
【連絡先】			
氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
内山 景衣	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

スポーツ Physical Education	授業担当教員	高橋 努・久保 清子		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		

【授業概要】

バドミントン、卓球種目の実技をする。身体活動（運動やスポーツ）の意義を理解させ、自己の身体状況を十分把握しながら適切な身体活動を行い、総合的な生活体力の向上と健康の保持、増進に努めさせる。

【到達目標】

学生時代はもちろん、生涯にわたり、安全で充実した健康生活を積極的に営むために、生活体力の養成と身体活動の習慣化を習得する。また、対戦方法を話し合ったり、ゲームごとに対戦相手をかえるなど、友達づくりのきっかけになることも目標とする。

知識・理解：バドミントン、卓球の歴史、用器具、ルール、マナー、ゲーム等について説明できる。

思考・判断：バドミントン、卓球の技術等の向上について、学生同士で指摘できる。

安全で健康的な生活を営むための生活体力の養成方法をいろいろ考えることができる。

関心・意欲・態度：バドミントン、卓球を積極的に実施できる。

バドミントン、卓球のゲームの対戦相手を尊重し、ゲームを実施できる。

バドミントン、卓球のゲームにおいて、主審、副審、線審、得点係などの担当を話し合って決めて、メンバー全員で協力してゲーム運営を実施できる。

技能・表現：バドミントン、卓球のゲームをルール、マナー等に従い、技術等を実践することができる。

その他：15回すべて実施することができる。

事故、怪我がなく、明るく、楽しく、元よく実施することができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション バドミントンの基本練習1	シラバスをもとに科目の概要や到達目標を理解する。 体育施設について理解する。 コンディションを把握する。 シャトルが打てるようになる。	実習	予習：シラバスを熟読する。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
2	バドミントンの基本練習2	各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
3	バドミントンの簡易ゲーム バドミントンのゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
4	バドミントンのゲームと評価1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
5	バドミントンのゲームと評価2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
6	バドミントンのゲームと評価3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
7	バドミントンのゲームと評価4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
8	バドミントンのゲームと評価5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
9	卓球の基本練習	ボールが打てるようになる。 各種打法が打てるようになる。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
10	卓球の簡易ゲーム 卓球のゲーム運営	ルール、ゲーム、審判法などを理解し、簡易ゲームを行う。 シングルス、ダブルスのゲームにおいて、進行をスムーズに行えるようになる。	実習	予習：配布資料等を参考にルール、ゲームの進め方、審判方法などを理解する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
11	卓球のゲームと評価1	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、ラリーが続くようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
12	卓球のゲームと評価2	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
13	卓球のゲームと評価3	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、各種打法を使い分け、ラリーが続けられ、思ったところに打てるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保
14	卓球のゲームと評価4	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(30分) 復習：ゲーム運営方法について、省察する。 体育館内の開放用具を利用して練習を行う。(60分)		高橋 ・久保

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
15	卓球のゲームと評価5	シングルス、ダブルスのゲームにおいて、対戦相手に対応した作戦を考えてゲームができるようになる。 技術、知識、態度、学習意欲、協調性などについて、総合的に評価する。	実習	予習：体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（30分） 復習：ゲーム運営方法について、省察する。体育館内の開放用具を利用して練習を行う。（60分）		高橋・久保

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	なし		
教科書	なし		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合				50%			50%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた質問や要望等は、次回の授業内で回答します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
高橋 努	授業の前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

<用意するもの>体育館シューズ、トレーニングウェア、着替え、タオル、うちわ、飲料水、マスクなど。

中国語 Chinese	授業担当教員		肖 航・斯日 古楞	
	補助担当教員			
	区分		教養選択科目	
	年次・学期		1年次 通年	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		

【授業概要】
中国語初級の教科書を用いて、中国語の基礎的な部分を説明します。
発音や文法といった中国語学習者が苦手とする部分を重点的に指導していきます。

【到達目標】
基本的な語彙や文型を習得し、基本的コミュニケーションスキルを身につけます。
知識・理解：中国語の初級文法を理解し、異文化について理解する。
思考・判断：外国語学習を通じて、異文化に対して開かれた思考ができるようになる。
関心・意欲・態度：中国語をはじめとする異文化に積極的に関心を持つ。
技能・表現：中国語の初級レベルを身につける。

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	授業オリエンテーション 導入、発音の基礎	「中国」や「中国語」について概観し、受講上の注意点、学習上の注意点、参考書・辞書類の紹介、テストの方法、成績評価について案内する。	講義	予習：シラバス内容の確認。教科書の概説に目を通す。(60分) 復習：中国語の基礎知識（60分）		肖斯日
2	発音の基礎	第1課 中国語の音節・声調	講義	予習：中国語の音節と声調の予習。(60分) 復習：中国語の基礎知識（60分）		肖斯日
3	発音の基礎	第2課 単母音・複母音	講義	予習：単母音と複母音の予習。(30分) 復習：CDを聞きながら、音節と声調を振り返る。(45分)		肖斯日
4	発音の基礎	第3課 子音①	講義	予習：子音①の予習。(30分) 復習：CDを聞きながら、既習の母音をおさらいする(45分)		肖斯日
5	発音の基礎	第4課 子音②・鼻音	講義	予習：子音②と鼻音の予習（30分） 復習：CDを聞きながら、既習内容をおさらいする。(45分)		肖斯日
6	発音の基礎	発音の規則	講義	予習：次回内容の予習（60分） 復習：教科書の音読。(60分)		肖斯日
7	まとめ	発音の復習	講義	予習：次回内容の予習 復習：教科書の音読。(60分)		肖斯日
8	復習	発音の映像鑑賞・ピンインのテスト	講義	予習：次回内容の予習（60分） 復習：教科書の音読。(60分)		肖斯日
9	文法の基礎	第5課 出迎える	講義	予習：次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(45分)		肖斯日
10	文法の基礎	第6課 歓迎パーティー	講義	予習：次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。内容の理解。(45分)		肖斯日
11	文法の基礎	第7課 タクシーに乗る	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(45分)		肖斯日
12	文法の基礎	第8課 宿泊する①	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の復習。(30分) 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(45分)		肖斯日
13	文法の基礎	第8課 宿泊する②	講義	予習：第5課～第8課の内容（60分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(60分)		肖斯日
14	小テスト	前期内容の復習・小テスト	講義	予習：テストの準備（60分） 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(60分)		肖斯日
15	中国文化の紹介	中国の映画鑑賞	講義	予習：次回内容の予習 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(60分)		肖斯日
16	復習	前期内容のおさらい	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。(45分)		肖斯日
17	文法の基礎	第9課 道をたずねる	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。文法内容の理解。(45分)		肖斯日
18	文法の基礎	第10課 ショッピングをする	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。(45分)		肖斯日
19	文法の基礎	第11課 おしゃべりをする	講義	予習：既習内容の復習。次回内容の予習。(30分) 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。(45分)		肖斯日
20	文法の基礎	第12課 料理を注文する	講義	予習：既習内容の復習。(30分) 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。(45分)		肖斯日
21	文法の基礎	第13課 サッカーのチケットを買う	講義	予習：第13課の文法事項の予習（30分） 復習：文法を復習する。(60分)		肖斯日
22	復習	後期内容の復習	講義	予習：小テストの内容 復習：教科書の音読。新しく学んだ文法事項について、教科書をよく読んで理解を深める。(60分)		肖斯日
23	テスト	定期試験	講義	予習：既習内容の復習。(60分)		肖斯日

【教科書・参考書】			
種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	『改訂版 シャベっていいとも中国語 中西君と一緒に中国へ行こう！』	陳淑梅・劉光赤著	朝日出版社
参考書	はじめての中国語学習辞典		朝日出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				20%		20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

採点済みの定期試験や小テストを希望者に返却します

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
肖 航			
斯日 古楞			

【その他】

授業内容・順序を変更することがあります。

코리아語 Korean	授業担当教員	朴 貞美・李 垠姫		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目		
	年次・学期	1年次 通年	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程

【授業概要】

韓国語は日本語と同じ語順であり、漢字からきた単語も多いため日本人にとって比較的短時間で学びやすい外国語である。この科目では初めて韓国語を学ぶ学生を対象とし、前期は韓国の文字である「ハングル」の習得に重点をおいて、ハングルの仕組みと自然な発音、読み方や書き方、基礎文法などについて講義する。後期は文字の読み書きにとどまらず、韓国語で実際のコミュニケーションができるように韓国語の基本文法と日常表現を勉強する。前期、後期ともに韓国の文化、日本との関係なども紹介、異文化への理解と関心を高める。

【到達目標】

韓国の文字であるハングルと、初歩の韓国語文法を習得する。また、韓国の文化を知ることによって異文化に対する理解を深める。(前期)

韓国語の基本文法と日常表現を習得し、韓国語で自分のことが表現できる。また、韓国の文化を知ることによって異文化に対する理解を深める。(後期)

知識・理解：ハングルで書かれた文章を自然な発音で読め、初歩の韓国語文法や表現が理解できる。韓国語の基本文法を理解し、基本文型を覚え、さらに応用して話すことができる。

思考・判断：外国語と他国の文化を学ぶことで、国際化社会で必要とされる、より客観的で開放的な観点からの思考ができる。

関心・意欲・態度：異文化の面白さにふれることで学習意欲を高め、より積極的にコミュニケーションを図るようになる。

技能・表現：基礎的な表現を使い、韓国語で自己紹介ができる。初級レベルの韓国語の日常表現を身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	授業オリエンテーション／韓国語概観／1課 ハングルと発音を覚える(1)	韓国と韓国語／ハングルの仕組み／あいさつの言葉／単母音／重母音(1)	講義・演習	予習：シラバスを熟読する（30分） 復習：授業で扱った内容（90分）	ハングルの仕組みが分かる／文字を習得／簡単な挨拶ができる	朴李
2	1課 ハングルと発音を覚える(1) 2課 ハングルと発音を覚える(2)	子音(1)(2)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得	朴李
3	2課 ハングルと発音を覚える(2)	子音(3)(4)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得	朴李
4	3課 ハングルと発音を覚える(3)	重母音(2)／氏名をハングルで書く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得	朴李
5	3課 ハングルと発音を覚える(3)	終声(パッチム)(1)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得	朴李
6	3課 ハングルと発音を覚える(3)	終声(パッチム)(2)／連音化	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得	朴李
7	文字のまとめ	韓国語の長文を自然な発音で読む／K-popを歌詞を見ながら聴く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	文字を習得／基礎文型や表現を習得／韓国語の長文が読める	朴李
8	小テスト／4課 私は山田ユリです	小テスト／～です(か)-예요/이에요／～は-는/은	講義・試験・演習	予習：テストに備えて今まで学習してきたハングル文字・単語を完全に習得しておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
9	4課 私は山田ユリです	～でいらっします(か)-세요/이세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
10	4課 私は山田ユリです	自己紹介文の作成	講義・演習	予習：自己紹介文の作成準備（60分） 復習：自己紹介文を完成させる。（60分）	基本文法や表現を習得／自己紹介文が書ける	朴李
11	小テスト／前期 総まとめ	小テスト／自己紹介文の確認	講義・演習・試験	予習：テストに備えて韓国語の文章が自然な発音で読めるようにし、自己紹介文が正しく書けるようにする。（60分） 復習：前期の学習内容をまとめ、自己紹介ができるようにする（60分）	基本文法や表現を習得／自己紹介ができる	朴李
12	授業オリエンテーション／5課 この近所にスーパーマーケットがありますか。	前期の講義内容の確認と後期の講義計画の説明／～가/이／～に-에(場所)／～も-도／あります・います-있어요／ありません・いません-없어요／指示詞のまとめ-이/그/저	講義・演習	予習：シラバスの熟読と前期で学内容内容の復習をしておく（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
13	6課 ヤンニョムチキン1つください	～を-를/을／～と-하고,-와/과／～をください-를/을 주세요／固有数詞	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
14	7課 写真1枚撮ってください	(用言:動詞・形容詞)～て-아/어／(用言)～てください-아/어 주세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
15	7課 写真1枚撮ってください	縮約形(1)／縮約形(2)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
16	8課 週末に何をしますか	～ます(か)・です(か)-아요/어요／～で、～から-에서(場所)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得	朴李
17	8課 週末に何をしますか	漢数詞	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる	朴李
18	9課 遠くありません	用言文の否定形-지 않아요/안-／名詞文の否定形-가/이 아니에요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる	朴李

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当 教員
19	10課 コーヒー 1 杯召し上がってください	丁寧な尊敬表現-세요/으세요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる	朴李
20	11課 私は地下鉄で来ました	用言の過去形-았어요/었어요／～で-로/으로(手段・方法)	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる	朴李
21	11課 私は地下鉄で来ました／韓国ドラマ鑑賞	～へ-로/으로(方向)／韓国ドラマを鑑賞し、感想文を書く	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：ドラマで見た異文化について考える（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる／異文化に対する理解を深める	朴李
22	12課 今度は是非行きたいです	～したいです(か)-고 싶어요／～が好きです(か)・～が嫌いです(か)-를/을 좋아해요・싫어해요	講義・演習	予習：教科書で授業内容を確認（60分） 復習：授業で扱った内容（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる	朴李
23	後期 総まとめ	総まとめ	講義・演習	予習：後期の学習内容をまとめておく（60分） 復習：期末試験に備え、全体の復習（60分）	基本文法や表現を習得／初級レベルの日常会話ができる／会話文が作成できる	朴李

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	韓国朝鮮語 初級テキスト 改訂版 根と幹	生越直樹 /生越まり子 /池玫京	朝日出版社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	30%	20%			20%	20%	10%	
備考					小テスト	授業内外課題、確認クイズ、発表 など	授業態度、出席率 など	

【課題に対するフィードバック方法】

提出された課題を確認、必要に応じて訂正して返却します。
小テストは次回の授業で解答の解説を行います。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
朴 貞美	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	
李 垠姫	授業前後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

外国語を学ぶ上で一番大切なことは自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢です。授業ではペアワークで練習をすることが多いので、積極的に参加しましょう！
成績評価は合計60%以上を合格とし、出席回数が授業回数の2/3以上を充たさないと試験を受けられなくなるので注意してください。
授業計画は、進捗状況によって前後する場合があります。

ドイツ語 German	授業担当教員		倉持 有香子	
	補助担当教員			
	区分			
	年次・学期		単位数	0単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目） B1,K	保健師課程
--------------	--	-------

【授業概要】

ドイツ語の構造や成り立ちを紹介する。ドイツの習慣や文化的背景を伝える。
ドイツ語構造の理解の上に語彙や文型を蓄積し、基本的ドイツ語表現を習得する。

【到達目標】

演習/会話活動を積み上げ、ドイツ語のごく初歩的な文法構造を理解し、平易なドイツ語のコミュニケーションスキルを身につける。

知識・理解：ドイツ語と英語の文法的な差を説明できる

思考・判断：文章構造に着眼できる

関心・意欲・態度：ドイツ語らしい発音に配慮できる

技能・表現：定型の簡単な表現を身につける。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	ドイツ語とドイツ語圏文化 いざない	授業計画提示・アルファベート・綴りと発音・数詞や季節	講義・演習	予習：指定教科書を用意の上出席のこと。辞書は不要。辞書を安易に調べるよりも、授業内で扱った語彙を確実に定着させる習慣をつけてほしい。（10分） 復習：アルファベート・綴りと発音ルール・数詞を復習、定着練習。教材中の数詞や季節語彙をドイツ語のルールに従って読み上げる練習。（80分）		倉持
2	独文法入門とドイツの文化 1	動詞の人称変化 語順 平叙文と疑問文 文化紹介「ドイツ語圏のお菓子」	講義・演習・グループワーク	予習：1課を、発音ルールに従い音読してみる。（30分） 復習：教室で実施したグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。挨拶での場面を練習する。教材内の語彙や文の運用を覚える（60分）		倉持
3	独文法入門とドイツの文化 2	職業や身分とsein動詞 wasとwerで開放疑問文 文化紹介「ミュンヘン」	講義・演習・グループワーク	予習：1課全体に目を通し、文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文を音読して発音練習を継続する。（30分） 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。自己紹介での場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。（60分）		倉持
4	独文法入門とドイツの文化 3	名詞の性と格 文化紹介「お城」	講義・演習・グループワーク	予習：2課を、発音ルールに従い音読してみる。名詞が分類されることに着目し、文法上の「性」とはなに考える。（20分） 復習：復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。身の回りの物を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える（70分）		倉持
5	独文法入門 とドイツの文化 4	名詞と代名詞とhaben動詞 文化紹介「ザルツブルク」	講義・演習・グループワーク	予習：2課全体に目を通し、2課の文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。（20分） 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。持ち物を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。（70分）		倉持
6	独文法入門 とドイツの文化 5	数詞の復習 時計の読み方 非人称 es 文化紹介「ドイツの交通・買い物」	講義・演習・グループワーク	予習：3課を、発音ルールに従い音読してみる。時計の読み方の日本語の仕組みとの違いに気づく。（20分） 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。時刻を伝える場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える（70分）		倉持
7	独文法入門 とドイツの文化 6	不規則動詞① 文化紹介「ハプスブルク家」	講義・演習・グループワーク	予習：3課の文法項目を雑駁に理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。（20分） 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。不規則動詞の活用に基づいて日々の暮らしを語る場面を練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。（70分）		倉持
8	独文法入門 とドイツの文化 7	不規則動詞② 時刻表現とともに 文化紹介「ウィーン」	講義・演習・グループワーク	予習：3課全体に目を通し、不規則動詞や時計をの読み方に習熟する。（20分） 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。交通機関の発着などを語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。（70分）		倉持
9	ドイツの戦後史講義	「ベルリンの壁 構築と崩壊の歴史」	講義	予習：第二次世界大戦後のドイツや欧州について基礎的な知識を確認する（30分） 復習：自らネット上で戦後のドイツが歩んだ道を調べ、講義と照らし合わせる（60分）		倉持
10	独文法入門 とドイツの文化 8	所有冠詞 文化紹介「ベルリン」	講義・演習・グループワーク	予習：4課を、発音ルールに従い音読してみる。4課の文法項目を雑駁に理解し、所有冠詞という英語にない概念を考えてみる。（20分） 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。所有者を明示しながら語る場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。（70分）		倉持
11	独文法入門 とドイツの文化 9	所有冠詞 と 人称代名詞の3・4格 その語順 文化紹介「ドイツ人の名前」	講義・演習・グループワーク	予習：4課全体に目を通して、英語とは違う仕組みの文法に気づく。前期全体について質問がないか確認する。（20分） 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。家族や持ち物について語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。夏休み課題を機なす計画をたてる。（70分）		倉持
12	復習その他	前期の振り返り 曜日・月・季節の言い方	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前に学んだ箇所を教材などで確認し、ふりかえりをする。（20分） 復習：夏休み前のことを再度学びなおす。 新たに導入された「月」「曜日」「季節」語彙を定着させる。（70分）		倉持
13	独文法入門 とドイツの文化 10	前置詞と格支配 変換前置詞の3格支配 文化紹介「中世ドイツ・町の成り立ち」	講義・演習・グループワーク	予習：夏休み前の学習項目を確認し忘れているところは復習する。5課を発音ルールに従い読み、文法項目を雑駁に理解する。（20分） 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所を聞きあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。（70分）		倉持
14	独文法入門 とドイツの文化 11	変換前置詞の4格支配 文化紹介「ドイツの教育制度」	講義・演習・グループワーク	予習：5課を、発音ルールに従い音読してみる。前置詞によって後続の名詞の格が変わることに着目する。（20分） 復習：グループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。位置関係を語り合う場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。（70分）		倉持

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
15	独文法入門 と ドイツの文化 12	前置詞の融合形 や 動詞との組み合わせ 文化紹介 「スイス・パーゼル」	講義・演習・グループワーク	予習：5課全体に目を通し文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。場所や移動先を語り合う場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)		倉持
16	独文法入門 と ドイツの文化 13	助動詞 文化紹介 「芸術とドイツ」	講義・演習・グループワーク	予習：6課を、発音ルールに従い音読してみる。英語とは違う助動詞の仕組みに気づく。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。助動詞の運用方法に留意しながら、能力や義務を語る場面を練習する。教材内の語彙運用を覚える。(70分)		倉持
17	独文法入門 と ドイツの文化 14	副文 と 従属接続詞 文化紹介 「ノイシュヴァンシュタイン城と狂王」	講義・演習・グループワーク	予習：6課を読み副文の構造を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。理由や条件を付加して語る場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)		倉持
18	独文法入門 と ドイツの文化 15	分離動詞 文化紹介 「ドイツの水事情と家事」	講義・演習・グループワーク	予習：6課全体に目を通して、難しくなってきた文法を整理する。音読練習の大切さも忘れず継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。各種の文法項目を組み合わせて語り合う練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)		倉持
19	独文法入門 と ドイツの文化 16	形容詞の副詞用法と比較表現 文化紹介 「レストランの使い方・誕生日の祝い方」	講義・演習・グループワーク	予習：7課-2に目を通し、発音ルールに従い音読してみる。英語に似ている点に気づく。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。物の比較を語る練習をする。教材内の語彙運用を覚える。(70分)		倉持
20	独文法入門 と ドイツの文化 17	zu不定詞句 文化紹介 「クリスマス」	講義・演習・グループワーク	予習：10課-1を読み、英語の to 不定詞との違いに気づく。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。文法理解に基づいて表現を広げる練習をする。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)		倉持
21	アニメ映画鑑賞	ジブリアニメ「魔女の宅急便」をドイツ語で鑑賞	講義・動画鑑賞	予習：「魔女の宅急便」のあらすじを確認する。可能なら日本語で視聴してみる。(65分) 復習：鑑賞中に気になった語彙やフレーズを調べてみる (25分)		倉持
22	独文法入門 と ドイツの文化 18	過去表現 haben支配の現在完了形 文化紹介 「ドイツの天候」	講義・演習・グループワーク	予習：8課-2を、発音ルールに従い音読してみる。現在完了形の作り方や概念を考える。(20分) 復習：教室でのグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語り合う場面を練習する。過去分詞の調べ方に慣れる。教材内の語彙運用を覚える。(70分)		倉持
23	独文法入門 と ドイツの文化 19	過去表現 sein支配の現在完了形 文化紹介 「ドイツの祝祭」	講義・演習・グループワーク	予習：8課-2全体を読み文法項目を理解する。ドイツ文については音読して発音練習を継続する。(20分) 復習：教材の設問やグループワークを、自宅で一人芝居的に繰り返す。過ぎたことを語りあう場面を文法理解に基づいて練習する。教材内の語彙やフレーズ運用を覚える。(70分)		倉持

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	BUMERANG Re ブーメラン・エルエー	小野寿美子・中川明博・西巻丈児	朝日出版社
参考書			

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	50%				20%	10%		20%
備考	期末試験（教科書のみ持ち込み可）				授業ごとの小テスト	中間課題		授業参加態度や授業内発言など

【課題に対するフィードバック方法】

小テストの正解は翌授業で配布する。中間課題については、評価資料として必要であること、下級生への情報流出を防ぐ意味、の2点から返却しない。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
倉持 有香子	授業前後	当該教室	

【その他】

配布プリントを整理する「ドイツ語」専用ファイルを用意すること。辞書は必須ではない。活用が複雑なドイツ語は辞書引くのもむずかしい。辞書が使えるレベルまでいけないので、むしろ授業内で使った語彙を確実に定着させるような努力が望ましい。指定教科書のうち、7課-1、8課-1、9課、10課-2は扱わない。

ケアの基本理念 Basic concept of care	授業担当教員	石綿 啓子		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎選択科目		
	年次・学期	1年次 前期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	○Ⅲ / A-1、4、6、7、C-1			

【授業概要】

ケアに替えて、ケアが重視されるようになった。ケアとは何か。また、医療や福祉の様々な職種はどう連携しながら患者中心のケアを達成するのか。ケアの理念と異分野連携の実際と課題を学ぶ。

【実務経験】

病院に16年間勤務した経験を持つ

【到達目標】

1) ケア理念の歴史について概観し、ケア学の必要性について説明できる
2) ケアの医療モデルについて病をとらえる基本的な枠組みを説明できる
3) 高齢社会におけるケアの生活モデルについて新たな方向性を説明できる
4) ターミナルケア、スピリチュアルケアについて説明できる
5) ケアにおける医療と福祉と経済の関係について説明できる
6) メイヤロフの論じるケアの本質について説明できる
7) 看護におけるケアリングについて説明できる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	ケア理念	ケア理念の歴史を概観し、ケアの多様性も一望することで様々な領域を越境するケア学の必要性について学ぶ	講義	予習：ケア概念の歴史について教科書の該当ページを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1)	石綿
2	サイエンスとしての医療とケアとしての医療	ケアの4モデルのうち医療モデルに焦点化し、「病のエコロジー」という視点を通じて、これからの医療技術のあり方や、「病い」をとらえる基本的な枠組みについて学ぶ	講義	予習：医療モデルについて調べる（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	2)	石綿
3	生活モデルの新たな展開	「人間の三世代モデル」を中心に、老いや高齢社会の意味をとらえなおし、コミュニティや自然とのかかわりというテーマにも視野を広げながら生活モデルの新たな展開について学ぶ	講義	予習：生活モデルについて調べる（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	3)	石綿
4	超高齢時代の死生観とターミナルケア	「死」に関わるケアのあり方、ターミナルケアや死生観、スピリチュアリティについて学ぶ	講義	予習：ターミナルケア、スピリチュアルケアについて調べる（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	4)	石綿
5	ケアにおける医療と福祉と経済	「医療と福祉」の関係について、役割分担、医療保険と介護保険、ケアの市場化と社会保障について学ぶ	講義	予習：介護保険について調べる（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	5)	石綿
6	ケアの本質1)	他者の成長を助けることとしてのケアと、ケアの主要な特質について学ぶ。ケアの主な6要素について、グループワーク後発表し学びを共有する。	講義・演習	予習：ケアの主な6要素についてまとめレポートを提出する（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	6)	石綿
7	ケアの本質2)	人をケアすることの特殊な側面、ケアの価値決定、ケアによって規定される生の重要な特徴について学ぶ。	講義	予習：教科書の該当ページを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	6)	石綿
8	看護におけるケアリング	看護におけるケアリングについて、メイヤロフの影響を受けた看護理論家で、ヒューマンケアリング理論を提唱したワトソン、文化的ケア理論を提唱したレイニンガーが提示する概念と、事例との関連を学ぶ。	講義	予習：看護学概論の看護理論について復習する（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	7)	石綿

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ケアの本質	ミルトン・メイヤロフ/ 田村真・向野宣之訳	ゆみる出版
教科書	ケア学 越境するケアへ	広井良典	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						講義後にレポート課題を課す		

【課題に対するフィードバック方法】

課題レポート、リアクションペーパーについては疑問が解消され学習の方向性が見出せるように授業の中でフィードバックを行う

【連絡先】

氏名	オフィシアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
石綿 啓子	講義終了後	新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322）	ishiwata@nupals.ac.jp

【その他】

【成績評価基準】 レポート評価の詳細は授業中に提示する。レポート評価（１００点満点）のうち６０点以上を合格とする。

医療倫理	授業担当教員		宮坂 道夫	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程
	◎Ⅰ、Ⅳ、○Ⅲ / A－1、7、B－2、3、C－2、3、G-1	

【授業概要】

医療の倫理的問題を理解し、対話によって解決する能力を修得するために、総論として(1)医療の倫理の歴史、(2)医療の倫理の方法を学び、医療の複雑な倫理的問題を考えるための基礎的知識を身につける。その上で、死と喪失、生と生殖、個人の権利と公共の福祉、医学研究と医療資源の各論的テーマに沿って学習する。いずれの学修内容についてもグループワークまたは個人ワークとしてアクティブ・ラーニングを行う。

【実務経験】

新潟大学医歯学総合病院を始め、国内の医療機関で臨床倫理審査委員会の委員として医療現場で生じる倫理的問題の解決策を検討するとともに、個別事例のコンサルテーション業務を行っている。

【到達目標】

- 1．医療倫理の歴史の大まかな流れと重要な事例の要点を説明できる。
- 2．医療の倫理の方法について、要点を説明でき、事例に適用することができる。
- 3．死と喪失、性と生殖、個人の権利と公共の福祉、先端医療・医学研究・資源配分、チーム医療の各テーマについての倫理問題について解説できる。
- 4．医療従事者が参照すべき倫理指針の概要と、患者の権利や人権に配慮した態度や行動について説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	医療倫理の歴史(第1章)職業倫理の夜明け	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の歴史についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	1	宮坂
2	医療倫理の歴史(第2章)負の遺産と新しい時代	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の歴史についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	1	宮坂
3	医療倫理学の理論(第3章)倫理、規範、法	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の理論についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：教科書と授業時に提示する資料により復習する。（10分）	2	宮坂
4	医療倫理学の理論(第4章)倫理理論と原則的アプローチ	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の理論についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	2	宮坂
5	医療倫理学の理論(第5章)対話的アプローチ	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の理論についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	2	宮坂
6	医療倫理の理論(第6章)臨床倫理のツール	教科書の該当箇所にに基づき、講師が医療倫理の理論についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	2	宮坂
7	性と生殖（第7章）性についての医療倫理	教科書の該当箇所にに基づき、講師が性と生殖についての医療倫理の概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3	宮坂
8	性と生殖（第8章）生殖についての医療倫理	教科書の該当箇所にに基づき、講師が性と生殖についての医療倫理の概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3	宮坂
9	死（第9章）死についての医療倫理(1)	教科書の該当箇所にに基づき、講師が死についての医療倫理の概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3	宮坂
10	死（第10章）死についての医療倫理(2)	教科書の該当箇所にに基づき、講師が性と生殖についての概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3	宮坂
11	患者の権利、公衆衛生、研究など（第11章）患者の権利についての医療倫理	教科書の該当箇所にに基づき、講師が患者の権利についての医療倫理の概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3, 4	宮坂
12	患者の権利、公衆衛生、研究など（第12章）公衆衛生、資源、情報、研究についての医療倫理	教科書の該当箇所にに基づき、講師が公衆衛生、資源、情報についての医療倫理の概論を解説し、アクティブラーニングを行う。	講義・アクティブラーニング	予習：教科書の該当箇所を読んで予習する。（40分） 復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（10分）	3, 4	宮坂
13	教科書の補足、アクティブラーニング、グループワーク(1)	教科書の補足について講師が解説し、アクティブラーニング、グループワークを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（20分）	2, 4	宮坂
14	教科書の補足、アクティブラーニング、グループワーク(2)	教科書の補足について講師が解説し、アクティブラーニング、グループワークを行う。	講義・アクティブラーニング	復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（20分）	2, 4	宮坂
15	教科書の補足、アクティブラーニング、グループワーク(3)	教科書の補足について講師が解説し、アクティブラーニング、グループワークを行う。	講義・アクティブ・ラーニング	復習：授業中に行ったアクティブ・ラーニングを振り返って復習を行う。（20分）	2, 4	宮坂

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	原則と対話で解決に導く医療倫理	宮坂道夫	医学書院
参考書	看護倫理	宮坂道夫	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	30%					70%		
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

アクティブ・ラーニングの課題への講評を授業中に行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
宮坂 道夫	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

各授業はスライド映写と配付資料で行う。

【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポート評価（100点満点）のうち60点以上を合格とする。

食物と健康 Food and health Science	授業担当教員	松本 均・佐藤 真治		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅳ、○Ⅲ / B－2、C－2			

【授業概要】

人の健康な生活は適切な食物摂取が不可欠である。それよって得られる栄養素が体内における生化学的反応によって消化・吸収・代謝される基本的メカニズムを理解するとともに、栄養の概念、三大栄養素だけでなく非栄養素も含め、健康に役立てるための食品の知識から、食事・栄養面の重要性を学ぶ。また、現代社会のグローバル化、科学技術の進歩により多種・多様な食材が身近にあふれている。これら日常の食生活における身近な話題を取り上げ、それに科学的な解説を加えながらこれからの食事の考え方についても学ぶ。

【実務経験】

担当教員松本は、食品企業において、食品の機能性研究、機能成分分析業務に20年間従事した経験を活かして、一般健常人向けの食品について、基礎的な栄養学の知識を紹介する。

【到達目標】

(1)3大栄養素の消化吸収代謝機構について説明できる。(2)食品に使用される炭水化物（糖質、糖アルコール、低カロリー甘味料も含む）について説明し、栄養学的な意味を説明できる(3)食物繊維、オリゴ糖、プロバイオティックスについて、その機能性、栄養学的な意味について説明できる。(4)タンパク質、アミノ酸の機能性について、運動との関連性も含めて、理解し、説明できる。(5)脂質、脂肪酸の栄養学的な役割を理解し、肥満、生活習慣病に関する影響について説明できる(6)栄養素の過剰摂取について、予防、治療の観点から、どのような対策を講じることができるか考察できる。（7）エネルギー調節機構について栄養学の観点から考えることができ、肥満やダイエットに関して正しい思考と判断ができる。(8)脂質、コレステロールについて、その摂取すべき種類や量について、判断することができ、生活習慣病予防につながる食事習慣を考察することができる。(9)ビタミン、ミネラルの栄養学的機能性を理解し、多く含む食品について説明できる。(10)ビタミン、ミネラルの欠乏、過剰によって起こる疾病について、理解、説明ができる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 食品中の栄養成分	シラバスを基に科目の概要や一般目標、到達目標を理解する。食品に含まれる栄養成分について幅広く学ぶ。栄養の概念、栄養学の歴史及び現代日本の食生活の課題について学ぶ。良い栄養状態とは何か、栄養素の摂取の意義と限界、過剰栄養等の日本人の栄養の問題点について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（30分） 復習：配布のプリントを復習する。自分の生活や、将来の看護師として必要な栄養学の知識はなんなのかを、自分で確認する。自分の普段の食生活を見直し、栄養学的な理想のメニューとはなんなのか考える（150分）		松本
2	脂質の栄養	食品に含まれる脂質、脂肪酸について学ぶ。脂質の分類、消化・吸収・代謝、脂質の臓器間輸送、それに関わるリポタンパク質、コレステロールの種類・代謝・機能等について学ぶ。	講義	予習：脂質、コレステロールの過剰摂取や欠乏によっておこる疾病について調査する。これらの栄養素に関する健康食品を調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。生活習慣病につながる脂質コレステロールの過剰摂取について理解する（90分）		松本
3	ビタミンの栄養	食品に含まれるビタミンの定義と種類、分類について解説し、脂溶性ビタミン（ビタミンA、D、E、K）、水溶性ビタミン（B群mC）についてその化学的性質、体内動態、生理作用について学ぶ。また、欠乏症、過剰症について学ぶ。	講義	予習：ビタミンの過剰摂取や欠乏によっておこる疾病について調査する。これらの栄養素に関する健康食品を調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。ビタミンの不足、過剰摂取により起こる病気について理解する（90分）		松本
4	ミネラルの栄養 授業まとめ	カルシウム、マグネシウム、鉄、亜鉛、ヨウ素などの必須ミネラル類16種類について、その機能性と、欠乏症、過剰症、食事摂取基準、体内への吸収過程について学ぶ。	講義	予習：ミネラルの過剰摂取や欠乏によっておこる疾病について調査する。これらの栄養素に関する健康食品を調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。ミネラルの不足、過剰摂取について起こる病気について理解する（90分）		松本
5	栄養素の消化吸収機構	三大栄養素の化学的特徴と分類、消化・吸収のしくみについて学ぶ。	講義	予習：三大栄養素の化学的特徴と分類について調査する。三大栄養素の消化と吸収のしくみについて調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。三大栄養素の化学的特徴と分類、消化と吸収のしくみについて理解する（90分）		佐藤
6	栄養素の利用	三大栄養素が代謝されてどのように体内で利用されているかについて学ぶ。	講義	予習：三大栄養素が代謝されてどのように体内で利用されているかについて調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。三大栄養素が代謝されてどのように体内で利用されているかについて理解する（90分）		佐藤
7	糖質の栄養	糖質が、どのように代謝されてエネルギーが獲得されるか、またそれらの代謝経路はどのように調節されているのかについて学ぶ。血糖の調節、エネルギー源としての利用について学ぶ。グリコーゲンの分解と合成、血糖の調節機構、他の栄養素との関係について学ぶ。	講義	予習：糖質がどのように代謝されてエネルギーが獲得されるかについて調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。血糖の調節とエネルギー源としての利用について理解する（90分）		佐藤
8	タンパク質の栄養	タンパク質の代謝、アミノ酸の臓器間輸送について学ぶ。タンパク質を構成するアミノ酸の種類、タンパク質の合成と分解、アミノ酸プール、臓器によるアミノ酸代謝の違いを学ぶ。アミノ酸の代謝、タンパク質の栄養価について学ぶ。アミノ酸の代謝（尿素回路と炭素骨格の代謝）、必須アミノ酸、タンパク質の栄養価の評価方法等について学ぶ	講義	予習：タンパク質の代謝、アミノ酸の臓器間輸送について調査する（90分） 復習：配布のプリントの復習。アミノ酸の代謝、タンパク質の栄養価について理解する（90分）		佐藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
参考書	基礎栄養学 補訂版	池田彩子、鈴木恵美子ら	東京化学同人

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	85%							15%
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

期末試験の解答例をcyber-Campus上に公開します。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
松本 均	月曜日～金曜日の9:00-18:00（休日、代休日を除く）	食品機能学研究室（E203a）	hitoshi.matsumoto@nupals.ac.jp
佐藤 真治	月曜日～金曜日 講義・実習時間以外の時間(9:00～18:00)	食品分析学研究室（E202a）	sato@nupals.ac.jp

【その他】

各授業は配布されるプリント主体で行う。
【成績評価基準】 期末試験の結果60点以上を合格とする。

薬と健康 Medicine and Health	授業担当教員	朝倉 俊成・篠原 久仁子・関 明美		
	補助担当教員			
	区分	教養必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅳ、○Ⅲ / B－2、C－5			

【授業概要】

高齢社会の進展に伴いその要因、加齢による生理的变化や複数併存疾患の治療のために、多剤服用によるポリファーマシーや残薬問題が生じやすい状況が指摘されている。ここでは主に高齢者が使用する代表的医薬品の剤形、用法・用量の特徴、高齢者の身体的特徴などに触れ、高齢者が適正な服薬行動（療養生活）を継続できるための対応、服薬説明に必要なコミュニケーションと患者心理などについて取り上げる。その上で、ポリファーマシーの概念、多剤服用の現状と原因・誘因、薬剤に直しの基本的考え方を学習し、服用支援とそのための多職種協働の在り方について討議する。

【実務経験】

（朝倉）20年間病院薬剤師に従事し、糖尿病専門薬剤師（糖尿病薬物療法専門薬剤師、日本糖尿病療養指導士）として実務に従事している。（篠原）糖尿病薬物療法認定薬剤師、東京都糖尿病療養指導士、簡易懸濁法認定指導薬剤師、健康サポート薬剤師。病院薬剤師を経て薬局薬剤師、在宅訪問薬剤師や漢方、薬膳教室主宰。薬剤師歴38年で、現在も薬局を多店舗開局している。（関）薬剤師歴33年、看護師歴10年。スポーツファーマシスト、災害医療薬剤師、健康サポート薬剤師、特定看護師、介護支援専門員、看護学校講師。病院薬剤師から訪問看護師まで幅広く実務に従事し在宅に焦点をおいた看護師、薬剤師の育成を行っている。

【到達目標】

（１）適正な薬物療法を実践するために必要な患者への情報提供と留意しなければならない医療安全について概説できる。（２）高齢者が使用する代表的医薬品の剤形、用法・用量の特徴、高齢者の身体的特徴などを概説できる。（３）高齢者が適正な服薬行動（療養生活）を継続できるための対応、服薬説明に必要なコミュニケーションと患者心理などを概説できる。（４）ポリファーマシーの要因や残薬問題を理解し、その対応について概説できる。（５）服用支援のための多職種協働の在り方について概説できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	薬に親しむ、適正な薬物療法に必要な管理、高齢者における“くすり”に関する問題点	医薬品とOTC薬品の違い。医薬品の剤形の特徴と服薬行動（使用）上の留意点。適正な服薬行動を得るための情報提供。服薬説明の重要性。高齢者に必要なコミュニケーション技法と患者心理の理解。患者、医療従事者にとって必要なリスクマネジメント（安全管理）。代表的な薬害について。高齢者の身体機能（認知機能、手指機能、臓器機能、ADL）の特徴。	講義	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NB00020201,NB00040253D,N E030107,NE050201,NE05020203,NF00020609,,NA00010101,NA000301,NA000302,NE030201,NF00020402,NF00020406,NF00020413,NF00020414,N E030201,NE03020203,NE03030202,	朝倉
2	ポリファーマシーとその対策（１）	Multimorbidity（多臓器罹患状態）の概略。多剤併用に至る要因とその解消。	講義・演習	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	ND01020302,NE03030202,NF00040103,	篠原
3	ポリファーマシーとその対策（２）	疾病構造と薬物治療（用法・用量、剤形、多剤併用）。	講義・演習	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	ND010201,NE01010106,NE01010107,NE010300,NE01040001,NF00020312,NF00030304,	篠原
4	ポリファーマシーとその対策（３）	残薬とその対応（理論と事例）。	講義・演習	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NF00020313,NF00020412,NF00020414,NF00030303,	篠原
5	多職種連携（１）	服用支援と多職種協働 ・服薬に必要な機能と対象者の理解 ・服薬が困となる要因と対応について	講義・演習	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NA00010103,NA000400,NF00020313,NF00040102,NF00040104,NF00040201	関
6	多職種連携（２）	服薬支援と多職種協働 ・地域包括ケアシステムの機能 ・多職種連携の中での薬剤師の役割 ・療養者を中心とした服薬支援の視点	講義	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NF00050101,NF00050102	関
7	多職種連携（３）	在宅管理 ・療養者を取り巻く環境 ・薬剤師が行う訪問薬剤指導管理 ・療養者にとって服薬に必要な薬剤情報を適切に提供するためのコミュニケーション	講義・演習	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NF00050101,NF00050102	関
8	ポリファーマシーとその対策（３）	在宅管理（事例展開） ・在宅療養者が薬剤を服用できるための協働支援についてグループワークで討議と発表	SGD・討論	予習：事前に各自授業内容に関して調べておくこと。（60分） 復習：授業で配布した配布プリントを基に授業内容を振り返ること。（60分）	NF00050101,NF00050102	関

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	配布プリント		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						90%	10%	
備考						各教員ごとにレポート課題を課します。	授業、SGDなどへの積極性	著しく受講生としての態度が悪い場合は、その場で注意するが減点評価も行います。

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容及び課題に関する疑問点等に対しては、随時対応する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
朝倉 俊成	月～金 13～19時(事前にメールで連絡してください)	臨床薬学教育研究センター(C棟202)	asakura@nupals.ac.jp
篠原 久仁子	授業終了後		
関 明美	授業終了後		

【その他】

講義前の予習、講義後の復習を行うこと。

情報リテラシー応用 Advanced Information Literacy		授業担当教員	星名 賢之助・浅田 真一・富永 佳子・川村 暢幸・伊藤 美千代・井坂 修久・若栗 佳介・佐藤 里佳子		
		補助担当教員	関川 由美		
		区分	教養必修科目		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位
看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程			
	B-2				

【授業概要】

デジタル社会の「読み・書き・そろばん」として「数理・データサイエンス・AI」が位置づけられています。その意味は、私たちがデータから適切に情報を収集し、判断することは、現代社会における標準スキルとして身に付けるべき、ということです。本講義では、「数理・データサイエンス・AI」とは何か、実社会における数理・データサイエンス・AIがどのように利用されているか、についての講義を行います。その上で、具体的にデータ収集とデータ処理が出来る能力および、社会における数値データを適切に解釈するためのスキルが身に付けられるように演習形式で指導します。生活や仕事場に急速な変化をもたらすAIに対して、私たちはどのように関わるべきなのか、自ら考える機会としてほしいと考えます。本科目は、1年次前期開講科目「情報リテラシー基礎」の基礎的な知識が必要とされます。

【実務経験】

富永：製薬会社（内資系・外資系）等において新薬開発およびマーケティングの業務に25年以上携わり、開発段階の臨床試験データの統計解析や製品戦略構築のための市場調査解析の実務経験を活かして、実践的な視点で講義を行う。

【到達目標】

- 1) 今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に着ける。
- 2) 人工知能（AI）の利活用、できること、できないことを理解し、説明できる。
- 3) グループとして様々な事業分野（医・薬・農業・経済・その他）における先進AI利活用事例の調査・発表に取り組み、協働・共調学修を通じて、さらに学びを深める。
- 4) 現実社会で見られる事象の綿密な要因分析により根底にある課題を特定し、そのための解決策を考えることができる。
- 5) 公的統計データ、実データを用いて、データの種類に応じた適切なまとめ方や分析手法について理解する。
- 6) 日常生活におけるデータサイエンスの応用事例とその意義を説明できる。
- 7) データの種類による違い、簡易統計量のそれぞれの意味、データの種類や目的に応じた分析・統計解析の手法を理解し、説明できる。
- 8) 様々なグラフ表現を理解し、その違いを説明できる。
- 9) 分析手法やグラフ表現の選択、結果の解釈など根拠を持った判断ができる。
- 10) 積極的に授業内容に対する質問や意見を提示し（Teamsでの質問提示を含む）、クラス全体としての協働・協調学修に貢献する。
- 11) Microsoft Excelを用いて集計・解析およびグラフ作成ができる。
- 12) Microsoft Powerpointを用いて、調査結果をまとめた発表資料が作成できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	人工知能（AI）・データ解析を学ぶ意義	人工知能（AI）の急速な進展に代表される近未来に向けて、情報リテラシーを学ぶ意義、社会におけるデータの役割、社会で起きている変化について学ぶ。	講義	予習：シラバスの熟読（80分） 復習：復習：講義内容を整理し、まとめる。（180分）	1)	星名 浅田 富永 伊藤 若栗 井坂 佐藤 川村 関川
2	AIの仕組み	AI（人工知能）とは何か、その仕組み、背景となる必要性、実現する技術、利用例について学ぶ。それを課題として利用方法にいてグループ単位で調査を行う。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	8), 9), 10)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
3	AI活用例の調査（1）	AIの活用方法（医・薬・農業・経済・その他）の具体的事例を1つ選び、それを課題として利用方法にいてグループ単位で調査を行う。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	3)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
4	AI活用例の調査（2）	調査資料を元にパワーポイント発表ファイルとしてまとめる。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	3)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
5	AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（1）	調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。	講義・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	1), 2)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
6	AI調査結果のまとめ、発表資料の作成（2）	調査資料を元に発表ファイルとしてパワーポイントでまとめる。	講義・発表・グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	3)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
7	AI調査結果の発表、 討論（1）	各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。	講義・発表・ グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	3),5)	富永 浅田 若栗 星名 伊藤 佐藤 川村 関川
8	AI調査結果の発表、 討論（2）	各グループからの発表を通じて、AIができること・できないこと、活用方法、具体的事例を共有し、クラス全体で互いの学びを深める。	講義・発表・ グループワーク	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	3),5)	富永 浅田 星名 伊藤 若栗 佐藤 川村 関川
9～10	データ分析（1-2）： データとAI 、データとは 分析のためのエクセル 操作、p値の導出	データ分析の概要、データの表現・収集、留意事項、AIの関係について学ぶ。 Excelを利用したデータ分析の基礎について学び、検定の基礎となるp値が導出できるようになる。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	1),6), 7), 8), 10)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
11～12	データ分析（3-4）： 確率、独立、検定	母集団と標本との関係を理解した上で、検定の理論と方法論を学ぶ。平均の検定や平均の差の検定を通じ、確率の解釈と独立性の概念を習得する。これらの知識を活用し、データから有意な結論を導き出すスキルを身につける。	講義・演習	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	4), 6), 8), 10)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
13～14	データ分析（5-6）： 相関、回帰分析	相関分析と回帰分析を学び、二変数間の関係性を探る手法を習得する。これらの分析手法を用いる際の注意点を理解し、データに基づく予測モデルの構築方法を学ぶ。	講義・演習・ 課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	4), 6), 8), 10)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名
15	データ分析（7）：エ クセルを利用したデ ータ分析	実データのデータ分析を行う（試験）。 分析手順について解説を行う。	講義・演習・ 課題	予習：授業資料を読んでくる。（130分） 復習：講義内容を整理し、まとめる。（130分）	4), 6), 8), 10)	若栗 井坂 伊藤 佐藤 川村 関川 星名

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	データサイエンス入門	上藤一郎、西川浩昭、朝倉真粧美、森本栄一	オーム社
参考書	AI・データサイエンスの基礎	吉原幸伸	アイテック

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合					35%	15%	20%	30%
備考					・講義時間内の確認 試験：9～14回 (5%×3日＝15%)、 15回 試験（20%）	・課題提出：9-10, 11-12, 13-14が実施される3 日間は課題をだしま す。その提出状況で採 点します。	・グループワークの進 捗報告（5%）、グル ープワークへの貢献度 （15%）	・成果発表（AI調 査の発表・討論）

【課題に対するフィードバック方法】

・授業に関して寄せられた要望・質問は、試験内容は、授業内・Teamsでフィードバックします。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
星名 賢之助	月～木 15:00-18:00	薬品物理化学研究室（F棟302a）	hoshina@nupals.ac.jp
浅田 真一	月曜日～金曜日 12:10～12:45 その他Teamsのchatで随時連絡可	薬学教育センター（F棟地下1階 FB101）	asada@nupals.ac.jp
富永 佳子	月～金、8:30～18:00（事前連絡が望ましい）	社会薬学研究室（F棟508）	y-tominaga@nupals.ac.jp
川村 暢幸	平日 10:00～16:00 Teams chatで事前連絡が確実	薬学教育センター F棟B101b	kawamura@nupals.ac.jp
伊藤 美千代	月曜日～金曜日（13:00～17:00）	新津駅東キャンパス（NE214）	nagano-ito@nupals.ac.jp
井坂 修久	月曜日～金曜日（10:00～17:00）	生体分子化学研究室（E403a）	isaka@nupals.ac.jp
若栗 佳介	月～金 11:00～17:00	新津駅東キャンパス（NE212）	wakakuri@nupals.ac.jp
佐藤 里佳子	月曜日～金曜日の午後（授業時間以外）	応用微生物・遺伝子工学研究室（E201）	rsato@nupals.ac.jp
関川 由美	月～金 10:00～18:00	薬学教育センター（F棟B101）	sekigawa@nupals.ac.jp

【その他】

※シラバス1～8回は、AIに関する調査・討論およびPowerpointを用いた発表資料作成を行います。
 ※シラバス9～15回は、統計解析の基礎演習をExcelを用いて行います。
 ※講義の順番はシラバス通りではありません。別途指示します
 ※毎回、各自ノートパソコンを持参してください。
 ※前期情報リテラシー基礎で使用した資料を持参するようにしてください。

英語Ⅱ English Ⅱ	授業担当教員		大竹 芳夫	
	補助担当教員			
	区分		教養必修科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	◎Ⅱ /A-7、E-1			

【授業概要】

看護の実践に必要な英語力を涵養するために、医療と看護に関わる内容の英語教材を使用して、英語のリーディング、リスニング、スピーキング、ライティングの4技能を総合的に伸長する。

【実務経験】

公立高等学校教員としての勤務経験をもとに、高等学校と大学の円滑な接続を意識しながら本授業を行う。

【到達目標】

1)医療と看護分野の基本的な英語の語彙や表現を理解できる。2)平明な英語の文章を読んで正確に理解できる。3)平明な英語の会話やアナウンスを聴いて正確に理解できる。4)英語音声の特徴に留意しながら英文を音読できる。5)自然な英語の文章を書くことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション	教材の特徴・意義と使用方法，授業の進め方，評価方法などについての説明 講義（「意味が違えば形も違う」），問題演習	講義・演習	復習：配布資料の内容を読み直しておくこと。次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
2	Unit 9 Living a Healthy Life	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：関係代名詞（who, which, thatなど），医療用語の理解：病名(1)，作文：うつ病チェック，友人との会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
3	Unit 10 Is the Treatment Different or Not?	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：現在完了と過去完了，医療用語の理解：病名（2），作文：招待状，病室での看護師との会話	講義・演習	予習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
4	Unit 11 Is Hepatitis B Curable?	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：thatの用法，医療用語の理解：病名（3），作文：認知症初期症状チェック，旅行前の会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
5	Unit 12 Do you want to be skinny?	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：時制，医療用語の理解：治療・手術，作文：健康の準備，病院のスタッフの会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
6	Unit 13 You Need a Breast Self-Examination	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：前置詞，医療用語の理解：薬剤関連，作文：乳がん予防のための10か条，病院で迷った人との会話	講義・演習	予習：次回の授業で取り上げる箇所をあらかじめ熟読しておくこと。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
7	Unit 14 Foreign Nurses Struggle for the Japanese Language	リスニング練習，読解，シャドーイングによる音読練習，文法事項の定着：受動態，医療用語の理解：医療関係の道具，作文：AEDの使い方，入院に関する会話	講義・演習	予習：教科書の学習した内容を見直して定期試験の準備をする。（120分） 復習：授業で学習した内容を発音や文法に注意しながら読み直して理解しておくこと。（100分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹
8	定期試験及び解説	定期試験及び解説	講義・演習	復習：試験後に不明箇所を再学習して理解に努める。（120分）	1), 2), 3), 4), 5)	大竹

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	Take Care! [Third Edition] Communicative English for Nursing and Healthcare（『医療と看護の総合英語』[三訂版]）	笹島 茂 著/ 山崎朝子 著	三修社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%				30%			10%
備考					適宜行われる小テスト			授業中の発表内容

【課題に対するフィードバック方法】

発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テストは解答・解説と点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深める。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
大竹 芳夫	講義の前後の時間帯	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

英和辞典や英英辞典（電子辞書等も可）を授業時に持参すること。
各回の準備学習の具体的内容については初回授業時に指示する。
定期試験、適宜行われる小テストの試験範囲を熟読し、試験後は不明箇所を再学習し、理解に努めること。

人体の構造と機能Ⅲ	授業担当教員		渡辺 啓介	
	補助担当教員			
	区分		専門基礎必修科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅲ/ A-2, A-3, A-8, C-3			

【授業概要】

人体骨格模型を用いて、立ち上がり、歩く、物を握る、持ち上げる等の人体の基本動作に関連する骨や関節、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。更に、呼吸、嚥下、話を聞く、話すなどの基本動作を行う際の、呼吸筋や咽頭筋などの筋肉や、舌、口蓋、咽頭、喉頭などの運動に合わせた、筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。

【到達目標】

人体骨格模型を用いて、1) 立ち上がり、2) 歩く、3) 物を握る、4) 持ち上げる、などの人体の基本動作に関連する骨や関節、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について説明できる。更に、5) 息をする、6) 食べる、7) 話を聞く、8) 話す、などの基本動作を行う際の、呼吸筋や咽頭筋、舌、口蓋、咽頭、喉頭等の運動に合わせた筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ①立ち上がる	人体骨格模型を用いて、寝返り、上体の挙上、下肢の移動、起き上がりに関連する骨や関節を選び出し、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	1	渡辺
2	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ②歩く	人体骨格模型を用いて、起立姿勢の維持、片足を前方に運び出す、腕をふる際に働く骨や関節を選び出し、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	2	渡辺
3	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ③物を握る	人体骨格模型を用いて、握る対象をボール、ペン、握手等の異なった物を握る際に働く骨や関節を選び出し、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める。（120分）	3	渡辺
4	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ④物を持ち上げる	人体骨格模型を用いて、荷物を持ち上げる際に、しゃがみ、両手で物を掴み、腰まで上げたあと、更に上まで持ち上げる際に働く骨や関節を選び出し、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	4	渡辺
5	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ⑤息をする	人体骨格模型を用いて、息を吸い、息を止め、息を吐く際に働く骨や関節を選び出し、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。また、気道に関連した、咽頭、喉頭蓋の運動についても討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	5	渡辺
6	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ⑥食べる	人体骨格模型を用いて、食物を口に入れ、咀嚼し、嚥下をする際に働く舌、口蓋帆、咽頭、喉頭蓋、それを動かすための筋肉の運動方向、その筋肉に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	6	渡辺
7	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ⑦話を聞く	人体骨格模型を用いて、聞く際に、相手を見て話を聞く際の視覚、聴覚等の感覚器の構造と機能、その感覚器に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	7	渡辺
8	身体の支持と運動、神経、血液循環を実際に体得する。 ⑧話す	人体骨格模型を用いて、話をする際に、声帯による発声、副鼻腔の構音器の構造と機能、その声帯や副鼻腔に分布する神経と血液供給について、討論し、レポートを作成する。	講義・SGD	予習：教科書第7章を読む（120分） 復習：授業内容を振り返り、学んだことを再認識し理解を深める（120分）	8	渡辺

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	系統看護学 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1	坂井建雄・岡田隆夫	医学書院
参考書	図解 解剖学事典	山田英智	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						60%	40%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
渡辺 啓介		生体構造学研究室（F棟202a）	

疾病の原因と成り立ち	授業担当教員		小山 諭	
	補助担当教員			
	区分		専門基礎必修科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅲ / B－2、C－3、4、5			

【授業概要】

疾病の発症するメカニズムから疾病の臨床病態を理解する。病理的变化として細胞の障害と修復、生物感染・免疫・遺伝子異常・加齢と疾患成立との関係、腫瘍、循環障害、代謝障害について病変臓器の肉眼的・顕微鏡的な変化と生理学的・生化学的な異常を学ぶ。

【実務経験】

この講義は臨床の実務経験を有する教員による授業である。
 （小山）1988年5月、医師免許取得。新潟大学消化器一般外科（旧、第一外科）に入局。新潟大学医歯学総合病院、秋田赤十字病院、秋田組合総合病院、新潟市民病院、佐渡総合病院、下都賀総合病院、水戸済生会病院などに勤務歴あり。2015年4月より新潟大学大学院保健学研究科に勤務。

【到達目標】

1. 病理学、病態生理学の基礎的知識から、健康障害を引き起こすメカニズムを理解する。
2. 人体の生理機能の破綻を病因・病変の特徴から疾病の病態生理を理解する。
3. 医療技術の開発による再生医療を理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	病理学、病態生理学の概念 病期の原因	病気とは 病理学、病態生理学の歴史 病期の原因：内因、外因、公害病・医原病、職業がん 回復に影響する要因	講義	予習：テキストを予め読み、病理学総論の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：病期の原因：内因、外因、公害病・医原病、職業がん、回復に影響する要因について復習すること	1	小山
2	細胞・組織の損傷と修復、治療	細胞・組織の損傷と適応：原因、適応現象、細胞の死、細胞・組織の編成 炎症：炎症とは、炎症に関与する細胞、局所の炎症反応 組織の修復と創傷治癒、化膿、炎症の分類と治療	講義	予習：テキストを予め読み、細胞・組織の損傷と適応、および炎症の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：細胞・組織の損傷と適応、炎症、組織の修復について復習すること	1	小山
3	感染症、腫瘍、先天異常と遺伝子異常	・病原体と感染症、感染成立、治療と予防 ・良性腫瘍・悪性腫瘍、上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍、がんの進展と転移 ・奇形、遺伝子異常、染色体異常、	講義	予習：テキストを予め読み、腫瘍・遺伝子・染色体の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：腫瘍・遺伝子・染色体ならびに先天異常と遺伝子異常について復習すること	1	小山
4	免疫の病態生理 体液調節の病態生理	・免疫反応低下：免疫不全、免疫反応の過剰、自己免疫疾患 ・体液・電解質の調節異常：体液の分画・組成、体液出納、水・Naイオン異常、Kイオン異常 Ca・リン異常 酸塩基平衡の異常：呼吸調節の異常、代謝性調節の異常・	講義	予習：テキストを予め読み、免疫系・体液調節系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：免疫系・体液調節系の異常に伴う変化について復習すること	1	小山
5	老化と死	老化と老年症候群 老化のメカニズムと細胞・組織・臓器の変化 死と終末期医療	講義	予習：テキストを予め読み、老化と終末期の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。	1	小山
6	循環器障害	虚血と梗塞、充血とうっ血、浮腫と胸水・腹水 心拍出機能の障害：狭心症、心筋梗塞、不整脈 心房・心室機能障害、心膜障害、心不全 血調節と末梢循環障害：高血圧、低血圧、動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤、肺塞栓症	講義	予習：テキストを予め読み、心臓・循環器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：心筋虚血・循環障害のメカニズムについて復習すること	2	小山
7	呼吸器障害	呼吸困難、呼吸不全 呼吸器感染症：上気道感染、気管支感染、肺炎、肺化膿症、 肺結核 換気障害：呼吸運動障害、胸水・気胸、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患 ガス交換障害、肺循環障害、呼吸調節障害	講義	予習：テキストを予め読み、肺・呼吸器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：呼吸器系の障害、メカニズム、閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患について復習しておくこと	2	小山
8	消化機能障害	浮腫・腹水、出血傾向、横断、肝代謝異常、アルコール代謝 咀嚼・嚥下障害：神経障害、唾液分泌障害 胃・腸管の障害：胃炎、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、鉄欠乏性貧血、悪性貧血、ダンピング症候群 消化吸収障害：腹痛、下痢、腸管制御異常、嘔吐、消化管出血 肝・胆嚢機能障害：脂肪肝、肝炎、肝硬変、胆石、胆道閉鎖 す像機能障害：膵炎、すい臓がん 腹膜・腸間膜障害	講義	予習：テキストを予め読み、消化器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：消化器系の疾患、潰瘍、肝炎、肝硬変について復習しておくこと	2	小山
9	腎・泌尿器障害	血液供給不足 ろ過機能異常：糸球体腎炎、IgA腎症、糖尿病性腎症、ループス腎炎、ネフローゼ症候群 尿再吸収機能障害：腎性尿崩症、ファンconi・パータ症候群 腎間質障害、腎血管障害、痛風腎、腎不全 尿路感染症、尿路結石、前立腺肥大症、水腎症、 神経因性膀胱、前立腺がん	講義	予習：テキストを予め読み、腎臓・泌尿器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：腎機能障害、糸球体腎炎での変化などを復習しておくこと	2	小山

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
10	血液供給不足 ろ過機能異常：糸球体腎炎、IgA腎症、糖尿病性腎症、ループス腎炎、ネフローゼ症候群 尿再吸収機能障害：腎性尿崩症、ファンconi・バータ症候群 腎間質障害、腎血管障害、痛風腎、腎不全 尿路感染症、尿路結石、前立腺肥大症、水腎症、神経因性膀胱、前立腺がん	視床下部-下垂体異常：ACTH分泌異常、下垂体後葉ホルモン分泌異常、甲状腺機能亢進・機能低下症、副甲状腺機能亢進・低下症 糖質コルチコイド分泌過剰、糖質コルチコイド分泌過剰 糖代謝異常、脂質代謝異常、尿酸代謝異常、カルシウム・リン代謝異常	講義	予習：テキストを予め読み、ホルモン・内分泌系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。	2	小山
11	生殖機能の異常	女性生殖器官の異常：月経異常、膣炎・性感染症、子宮がん、子宮筋腫、卵巣腫瘍、乳がん 男性生殖器官異常：男性生殖器官異常、勃起障害	講義	予習：テキストを予め読み、生殖器官系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：女性生殖器官の異常・疾患および男性生殖器官の以上などを復習しておくこと	2	小山
12	脳・神経、筋肉の障害	脳循環の障害：脳血管障害、脳梗塞、脳出血 髄膜・髄液の障害：頭蓋内圧亢進症、脳ヘルニア、水頭症 脳腫瘍、つ通、睡眠障害、意識と認知の障害 運動制御障害：運動失調、大脳基底核異常、痙攣、てんかん、内耳・小脳異常、伝導ニューロン異常 筋収縮障害：神経原委縮、重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー	講義	予習：テキストを予め読み、中枢神経系・運動器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：脳神経系の疾患、脳血管障害、錐体路・錐体外路系の異常などを復習しておくこと	2	小山
13	感覚機能の異常	視覚機能の異常：眼底異常、眼圧異常、水晶体異常 聴覚機能の異常：南朝・耳鳴り、聴覚期の炎症、めまい 味覚・嗅覚の異常 皮膚感覚の異常 皮膚感覚の異常	講義	予習：テキストを予め読み、視覚・聴覚・味覚・皮膚感覚など感覚器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：眼・内耳・中耳・皮膚の構造と異常などを復習しておくこと	2	小山
14	血液機能障害	骨髄機能の障害 赤血球の障害 白血球の障害 血小板と出血傾向	講義	予習：テキストを予め読み、骨髄・造血器系の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：骨髄異形成・骨髄増殖性疾患などについてなどを復習しておくこと	2	小山
15	移植・再生医療	移植と拒絶反応 臓器移植：生体・死体臓器移植、腎・肝・肺移等 造血幹細胞移植 再生医療	講義	予習：テキストを予め読み、免疫系・臓器移植の概要を理解しておくこと。 これまでの解剖学・生理学を復習しておくこと。 復習：移植免疫機構などを復習しておくこと	3	小山

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	系統看護学講座「病理学」	大橋健一、他	医学書院
教科書	系統看護学鋼材「病態生理学」	田中越郎	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	80%						20%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小山 諭	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

疾病の予防と治療I	授業担当教員		青木 定夫	
	補助担当教員			
	区分		専門基礎必修科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎III / B－2、C－4、5			

【授業概要】

系統別疾患に共通する代表的な症状・徴候、検査・診断・治療を学習する。
この科目では呼吸、循環、血液・造血器、内分泌の疾患、排泄機能障害に関して対象の病態理解の基盤となる知識を修得する

【実務経験】

病院において30年以上患者さんの診断治療に従事した経験がある。

【到達目標】

- 1．呼吸器系疾患の症状と病態生理、検査・治療を理解する。
- 2．循環器系疾患の症状と病態生理、検査・治療を理解する。
- 3．血液・造血器系疾患の症状と病態生理、検査・治療を理解する。
- 4．内分泌系疾患の症状と病態生理、検査・治療を理解する。
- 5．排泄機能障害の症状と病態生理、検査・治療を理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	呼吸器系疾患 1	症状とその病態生理、検査と治療・処置	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	1	青木
2	呼吸器系疾患 2	疾患の理解 1 感染症、間質性肺疾患、気道疾患、肺循環疾患	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	1	青木
3	呼吸器系疾患 3	疾患の理解 2 呼吸不全、呼吸調節に関する疾患、肺腫瘍、肺・血管系の形成異常、胸膜・縦隔・横隔膜の疾患・肺移植・胸部外傷	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	1	青木
4	循環器系疾患 1	症状とその病態生理、検査と治療・処置	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	2	青木
5	循環器系疾患 2	疾患の理解 1 虚血性心疾患、心不全、血圧異常	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	2	青木
6	循環器系疾患 3	疾患の理解 2 不整脈、弁膜症、心膜炎、心筋疾患	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	2	青木
7	循環器系疾患 4	疾患の理解 3 肺性心、先天性心疾患、動脈系疾患、静脈系疾患、リンパ系疾患	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	2	青木
8	血液・造血器疾患 1	症状とその病態生理、検査と治療・処置	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	3	青木
9	血液・造血器疾患 2	疾患の理解 1 赤血球系の異常、白血球系の異常、免疫系・感染防御系	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	3	青木
10	血液・造血器疾患 3	疾患の理解 2 造血器腫瘍	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	3	青木
11	血液・造血器疾患 4	疾患の理解 3 出血性疾患	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	3	青木
12	内分泌系疾患 1	症状とその病態生理、検査	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	4	青木
13	内分泌系疾患 2	疾患の理解と治療 1 視床下部・下垂体の異常、甲状腺疾患、副甲状腺疾患	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	4	青木
14	内分泌系疾患 3	疾患の理解と治療 2 副腎疾患、性腺疾患、膵・消化管神経内分泌腫瘍、多発性内分泌腫瘍症、内分泌の救急治療	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	4	青木
15	排泄機能障害	排泄機能障害の症状と病態生理と検査・治療処置 疾患の理解:尿路の通過傷害と機能異常	講義	予習：教科書の該当部分をあらかじめ読んでおく。（60分） 復習：講義内容、プリント、確認テストの見直し。（180分）	5	青木

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 呼吸器	浅野浩一郎ほか	医学書院
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 循環器	吉田俊子ほか	医学書院
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 血液・造血器	飯野京子ほか	医学書院
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 内分泌・代謝	黒江ゆり子ほか	医学書院
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 腎・泌尿器	今井亜矢子ほか	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容については演習問題を用いて解説する。質問事項はportal nupals, teamsを用いて回答する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
青木 定夫	月～木 13:00～17:00 時間外も随時可	血液学研究室（F棟402a）	saoki@nupals.ac.jp

薬理学と薬剤管理 Pharmacology and Drug management	授業担当教員	坂爪 重明・須佐 寿		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎III / C－4、5、D－6			

【授業概要】

医療において薬物治療が占める割合は高い。医療者が薬物と関わる機会は多く、医薬品の作用や副作用、薬物動態に関する知識を備える必要がある。この科目では、基本的な病因、病態を学んだ上で、薬物治療を概説する。また、治療に用いる薬剤の薬物の作用点・作用機序・動態・相互作用などの基礎知識とそれに基づいた薬剤の適正管理の知識を修得する。

【実務経験】

（坂爪）病院薬剤師の実務経験をもとに本科目の講義・演習を行う。（須佐）病院薬剤師の実務経験をもとに本科目の講義・演習を行う。

【到達目標】

1）薬物治療を概説できる。2）薬物の投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）の違いによる特徴を説明できる。3）薬害について概説できる。4）主な治療薬の作用、機序、適応、有害事象を説明できる。5）薬物の作用点（受容体、イオンチャネル、酵素、トランスポーター）を説明できる。6）薬理作用を規定する要因（用量と反応、親和性等）や薬物動態（吸収、分布、代謝、排せつ）を説明できる。7）薬物の体内動態（吸収、分布、代謝、排泄）と薬効発現の関わりについて説明できる。8）薬物の蓄積、耐性、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。9）薬物相互作用とポリファーマシーについて概説できる。10）小児期、周産期、老年期、臓器障害、精神・心身の障害時における薬物投与の注意点を説明できる。11）薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。12）薬物管理の基本的知識と注意事項を説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	「薬理学と薬剤管理」概論	くすりのしくみについて（形状・吸収・作用・リスク・効果）	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
2	高血圧治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
3	抗不整脈薬・心不全治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
4	脳梗塞治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
5	糖尿病治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
6	認知症治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
7	骨粗鬆治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
8	がん治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
9	睡眠薬・抗不安薬・抗うつ薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	須佐
10	パーキンソン治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	須佐
11	感染症治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
12	喘息治療薬・脂質異常症治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
13	抗リウマチ薬・高尿酸血症治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
14	眼疾患治療薬・慢性腎不全治療薬	医薬品の薬理作用、体内動態、副作用、相互作用、その他注意事項などの基礎知識について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪
15	薬剤管理	劇薬、毒薬、麻薬、向精神薬および覚せい剤原料、特定生物由来製品の管理、ハイリスク薬の特徴と注意点について	講義・演習	復習：講義内容に関する配布資料、演習でおこなった内容を復習する（90分）	C-4-2、C-5-2、C-5-4、D-6-2、D-6-3	坂爪

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
その他	プリント配布		

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

講義及び演習に関する疑問点に対しては随時対応する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
坂爪 重明	月～金 13:00～17:00 時間外も随時可	臨床薬学教育研究センター（C棟205）	sakazume@nupals.ac.jp
須佐 寿	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

定期試験の60％を合格とする。
定期試験の解答をcyber-nupalsに掲示する。

家族看護学 Family Nursing	授業担当教員	日下 修一		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅲ、○Ⅴ / A－7、B－1、2、C－2、D－3、4、5			

【授業概要】

家族看護は比較的新しい視点であり、家族と患者・対象者をひとまとめにして捉える視点が必要である。また、患者・対象者と家族の間に生じる作用が円環理論に基づいて説明できることを前提に考えることができる。カルガリー看護モデルなど家族看護学の基本的理論を複数紹介し、家族援助のために必要な視点、家族アセスメント能力を身に付けられるよう講義する。また、病棟における家族看護、地域における家族看護、在宅看護の場での家族看護を比較し、在宅の看取りまでの家族看護の視点を理解できるよう講義する。

【実務経験】

精神科病院で8年の実務経験を持つ。

【到達目標】

- 1) 家族看護学の基本的理論が理解でき、説明できる。
- 2) ジェノグラムを作成でき、その意味を説明できる。
- 3) 家族を支援することと患者を支援することの関係性について説明することができる。
- 4) 家族援助における看護師の役割と援助姿勢について説明できる。
- 5) 事例に基づいて病院、地域、在宅における家族看護の違いを理解する。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	家族看護とは	家族看護学の基本的理論をカルガリー看護モデル、家族システム理論、家族エンパワーメント理論などを解説し、家族単位を看護の対象とする根拠を講義する。	講義	予習：テキスト第1章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	1)	
2	看護における家族の理解	家族看護学の対象とする家族について、看護としてどのように理解すべきか、また、問題を抱える家族、機能不全家族に関する視点を理解できるよう講義する。	講義	予習：テキスト第2章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	1)	
3	家族看護過程	ジェノグラムの作成と家族看護過程の基礎が理解できるように講義する。	講義	予習：テキスト第2章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	2) 3)	
4	家族看護における看護者の役割と援助姿勢	家族看護における看護者の役割と援助姿勢について、どのような関わりが必要か講義する。	講義	予習：テキスト第4章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	2) 3) 4)	
5	重症心身障害児をもつ家族への看護	重症心身障害児をもつ家族への看護について事例に基づき講義する。	講義	予習：テキスト第6章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	5)	
6	精神疾患をもつ患者の家族への看護	精神疾患を持つ患者の家族への看護について事例に基づき講義する。	講義	予習：テキスト第8章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	5)	
7	終末期患者の家族への看護	終末期患者の家族への看護について事例に基づき講義する。	講義	予習：テキスト第10章の予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	5)	
8	在宅看護における家族看護と地域看護における家族看護	在宅看護と地域看護における家族への関わりの違いを講義し、第5回から第7回で扱った病院での家族看護との比較を行い、家族看護の違いについてディスカッションを行う。	講義	予習：これまでの授業ノートの復習（60分） 復習：今回の授業ノートの復習（60分）	5)	

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	家族看護学 理論と実践 第5版	鈴木和子・渡辺裕子・佐藤律子	日本看護協会出版部

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
日下 修一	火曜日・金曜日 10：30～13：00	西新潟中央病院キャンパス（212）	kusaka@nupals.ac.jp

【その他】

各授業は教科書主体で行う。

【成績評価基準】試験による。100点満点のうち60点以上を合格とする。

公衆衛生学 Public Health and Hygeine	授業担当教員	酒巻 利行・佐藤 浩二		
	補助担当教員			
	区分	専門基礎必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅲ、○Ⅴ / A5、B1、2、E1、2、3			

【授業概要】

公衆衛生学は、現実の社会で起こっているさまざまな健康問題を、個人を取り巻く環境・社会との関連から解明する学問である。環境と健康との関連、ライフステージに応じた健康課題と保健活動について学ぶと同時に、わが国における公衆衛生活動の歴史とその成果を振り返り、社会の変容に伴う公衆衛生活動のあり方について学修する。

【到達目標】

- 1) 公衆衛生の変遷、定義、基盤となる法律、体制について説明できる。
- 2) 疫学、保健統計の基礎について理解できる。
- 3) 環境基本法の概要、環境問題と対策について説明できる。
- 4) 国際保健活動について説明できる。
- 5) 産業保健の課題と対策について説明できる。
- 6) 学校保健の課題と対策について説明できる。
- 7) ライフステージに応じた地域保健の課題と対策について説明できる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	公衆衛生の歴史、現在の公衆衛生システムと政策	公衆衛生の定義・変遷、基盤法、公衆衛生の体制、保健所・市町村保健センター、医療系専門職の役割について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	1)	酒巻
2	公衆衛生の理念・概念	健康の定義、ヘルスプロモーション・プライマリヘルスケア、予防の概念、ポピュレーションアプローチ・ハイリスクアプローチ、ソーシャルキャピタルについて講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	1)	酒巻
3	公衆衛生のものさしー疫学、衛生の主要指標	疫学とは何か、社会集団の健康を捉える指標、社会集団の健康に与える要因を特定する方法、疫学研究のデザイン、人口統計・疾病統計について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	2)	佐藤
4	環境保健①ー地球規模の環境問題と健康	環境が人間（生態）の健康に影響を及ぼす原理、地球規模の環境問題（生物多様性の損失、地球温暖化、オゾン層破壊、大気汚染、水質汚濁）とその対策について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	3)	酒巻
5	環境保健②ー身の回りの環境問題と健康	環境基本法の経緯・目的、環境基本法に基づく公害の定義、環境基本計画、身の回りの環境問題（騒音、室内環境、食品管理、ごみ・廃棄物）とその対策について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	3)	佐藤
6	国際保健ー経済格差と健康格差への国際協力	経済格差が健康格差を生み出す背景、国際保健取組みの経緯と国際保健の共通目標（SDGS）、国際協力のしくみと関係機関（WHO、国連、JICAなど）について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	4)	酒巻
7	産業保健ー職場における労働者の健康管理	産業保健の目的、労働衛生対策の変遷、労働災害と労働者の健康状態、労働者の安全と健康を守るしくみと産業保健活動について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	5)	佐藤
8	学校保健ー学校における児童生徒の健康管理	学校保健の目的と活動領域、児童生徒の安全と健康を守るしくみ、児童生徒の健康問題について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	6)	酒巻
9	地域保健①ー成人期保健の課題と生活習慣病対策・健康づくり	成人期における健康づくり対策の変遷、健康増進法に基づく健康づくり対策、生活習慣病対策、がん対策などについて講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	佐藤
10	地域保健②ー母子保健の課題と対策	母子保健福祉対策の変遷、母子保健福祉対策の根拠法令と目的・意義、健やか親子21、児童虐待防止対策、今後の母子保健福祉対策について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	酒巻
11	地域保健③ー高齢者保健福祉の課題と対策	高齢者保健福祉施策の変遷、高齢者保健福祉の目的・意義、現行の公衆衛生活動（介護予防、認知症予防）について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	佐藤
12	地域保健④ー精神保健福祉の課題と対策	精神保健福祉施策の変遷、精神障害者に対する現行の保健福祉施策、地域における国民のこころの健康づくり対策について講義する	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	酒巻
13	地域保健⑤ー健康危機管理	日本における健康危機の発生状況、健康危機管理の定義、地域における健康危機管理体制、健康危機発生における公衆衛生機関の連携と課題について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	佐藤
14	地域保健⑥ー感染症対策（1）	感染症の定義・成立要件、感染症法に基づく分類・届出・措置、主な感染症の特徴と動向について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	酒巻
15	地域保健⑦ー感染症対策（2）	感染症予防策、予防接種製剤の種類、予防接種法に基づく予防接種について講義する。	講義	予習：テキストの予習（60分） 復習：授業ノートの復習（60分）	7)	酒巻

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障②公衆衛生	平野かよ子他編	（株）メディカ出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
酒巻 利行	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503a）	sakamaki@nupals.ac.jp
佐藤 浩二	月～金 17:00～19:00 時間外も随時可	衛生化学研究室（F棟503b）	ksato@nupals.ac.jp

【その他】

各授業は教科書主体で行う。

【成績評価基準】 試験100点満点のうち60点以上を合格とする。

看護の基本技術 Principles of Nursing skill	授業担当教員	戸田 肇		
	補助担当教員			
	区分	専門教育必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅰ、○Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ/A－1、2、3、4、6、B－2、3、C－1、2、3、4、5、D－2、5			

【授業概要】

科学とは何か、技術とは何かを踏まえ、看護実践において客観的法則性を意識的に適用する看護技術とは何かを理解する。さらに看護する目的意識を持ち、対象者の安全を保障し、安楽な状態をつくりだし、自立に向け、その人を尊重しながら支援するために必要な看護技術を修得することの重要性と学修の方向性を培う。

【実務経験】

看護実践、看護学教育の経験を40余年有する。臨地の側から教育の側と共同して学生を支える実習指導者の育成に25余年責任者として取り組んできた実務経験も踏まえ、「看護系人材として求められる基本的な資質・能力」を培う講義を行う。

【到達目標】

1. 人を対象とした看護技術とは何かを述べることができる。
2. 看護技術の特徴を看護観との関係において述べるができる。
3. 看護コミュニケーション技術と一般的なコミュニケーションとの共通性と相異性を述べるができる。
4. 対象者の実像に近づくための看護コミュニケーション技術について述べるができる。
5. 看護技術の安全・安楽・自立の意義を述べるができる。
6. 看護技術の立体的な構造を科学的な看護観との関係において述べるができる。
7. 看護技術を修得することの重要性と学修の方向性を述べるができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	看護技術とは何か	・科学とは何か、技術とは何かを踏まえ、看護実践において客観的法則性を意識的に適用する看護技術について理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1	戸田
2	看護技術と看護観	・看護とは何かを踏まえ、看護技術の特徴を看護観との関係において理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2	戸田
3	看護におけるコミュニケーション技術①	・看護実践において人間関係の基盤となる看護コミュニケーション技術について、一般的なコミュニケーションとの区別と連関において理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3	戸田
4	看護におけるコミュニケーション技術②	・対象者の実像に近づき、より健康的な状態につなげるための看護コミュニケーション技術について理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3,4	戸田
5	看護技術の3原則 安全・安楽・自立	・看護技術は、看護する目的意識を持ち、対象者の安全を保障し、安楽な状態をつくりだし、自立に向け、その人を尊重しながら支援する構造をもった技であることを理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3,4,5	戸田
6	看護基本技術の立体的な構造と科学的な看護観	・安全・安楽・自立からなる看護技術の立体的な構造を、目的論・対象論・方法論からなる科学的な看護観との関係において理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3,4,5	戸田
7	看護基本技術の応用	・看護の基本技術を対象者の状態や状況に応じた看護技術へと発展させ、対象者を尊重した健康的な生活の創出に向けて支援するとはどうすることかを理解する。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3,4,5,6	戸田
8	看護の基本技術の学修の方向性	・技術の修得過程には、知る段階・身につける段階・使う段階があることを理解し、演習科目である「ヘルスアセスメント」「生活支援技術」「診療に伴う援助技術」「看護過程を展開する技術」への学修の方向性を想い描く。	講義	予習：講義プリントを読む（30分） 復習：講義内容の確認（60分）	1,2,3,4,5,6,7	戸田

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	講義プリントを配付		
参考書	系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ	有田清子 他	医学書院
参考書	看護実践能力の形成と発展を目指した看護学教育	戸田肇	北里看護学誌 9（1）

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						50%		50%
備考						課題レポート		バズセッション、リアクションペーパー

【課題に対するフィードバック方法】

課題レポート、リアクションペーパーについては、疑問が解消され、学修の方向性が見出せるように授業の中でフィードバックを行う。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
戸田 肇	月・木 12時30分～13時	新津キャンパス（J206）	toda@nupals.ac.jp

【その他】

授業は、参考書等をもとにした講義プリントを用いて行う。人を対象とした看護技術への理解が深まるようにバズセッションを中心とした授業に積極的に参加すること。

【成績評価基準】課題レポート、バズセッション、リアクションペーパー（100点）のうち60点以上を合格とする。詳細は授業中に開示する。

援助的人間関係論 Supportive Relationship Theory	授業担当教員	石綿 啓子		
	補助担当教員			
	区分	専門教育必修科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	◎Ⅱ、○Ⅲ / A－4、B－2、C－1、2、5、D－1			

【授業概要】

人間関係形成過程に関わる諸要素を概説するとともに、人間関係の基盤となるコミュニケーション技術の基礎、および人の誕生から高齢期に至るまでの一生涯の発達を視野に入れて、看護職に必要な自己理解・他者理解を通し、専門職としての援助関係形成のあり方や必要な知識と技術、自己の感情をケアに生かすために効果的なコミュニケーション技術について理解する。

【実務経験】

病院に16年間勤務した経験を持つ

【到達目標】

- 1) 人間関係を形成する要素を説明できる
- 2) コミュニケーションの基本となる構成要素、成立過程、方法を説明できる
- 3) 援助関係を深めるために必要な技術を説明できる
- 4) コミュニケーション障害がある人への対応を説明できる
- 5) 演習を通して自己理解と他者理解の要点を説明できる
- 6) コンフリクトの仕組みを知り、アサーティブな対応について説明できる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	人間関係の形成	人間関係を形成する諸要素について学ぶ。社会生活において、人間関係、信頼関係を形成する重要性を学ぶ	講義	予習：シラバスの確認をする（30分） 復習：人間関係の形成について講義内容の確認（60分）	1)	石綿
2	コミュニケーションのしくみ	コミュニケーションの構成要素、成立過程、基本的な方法を学ぶ	講義	予習：コミュニケーションの構成要素について教科書の該当ページを読み確認（30分） 復習：コミュニケーションの基本的な方法について講義内容の確認（60分）	2)	石綿
3	援助関係に必要な技術①	援助関係を深めるための技術を学ぶ（傾聴、質問、フィードバック）	講義	予習：援助関係を深める技術について教科書の該当ページを読む（30分） 復習：質問方法の違いについて講義内容の確認（60分）	3)	石綿
4	援助関係に必要な技術②	援助関係を深めるための技術を学ぶ（説明、意見、投げ返し）	講義	予習：援助関係を深める技術について教科書の該当ページを読む（30分） 復習：分かりやすい説明について講義内容の確認（60分）	3)	石綿
5	援助的人間関係の形成	援助関係を形成するために必要な知識と、発達段階を考慮したコミュニケーション障害がある人への対応を学ぶ。ブラインドワークの目的・方法、プロセスレコードの目的・方法について講義する。	講義	予習：コミュニケーション障害がある人の対応について教科書の該当ページを読む（30分） 復習：プロセスレコードの目的・方法について講義内容の確認（60分）	4)	石綿
6	自己理解と他者理解①	他者理解・援助としてブラインド・ワークを交互に実施する。援助される体験からの学びをレポートにまとめる	演習	予習：ブラインドワークの方法を確認し準備する（30分） 復習：レポートを提出する（60分）	5)	石綿
7	自己理解と他者理解②	自己理解としてブラインドワークで援助した場面についてオーランドが提唱したプロセスレコードを作成し、自身の援助を振り返る。	講義・演習	予習：プロセスレコードの記入方法を確認し準備する（30分） 復習：プロセスレコードを提出する（60分）	5)	石綿
8	コンフリクト・アプローチ	コンフリクトが生ずるしくみと対応方法を知り、アサーティブ・スキルを学ぶ。	講義・演習	予習：コンフリクトの仕組みについて調べる（30分） 復習：アサーティブな表現方法について確認する（60分）	6)	石綿

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②	有田清子、井川順子、石田寿子他	医学書院
参考書	対人コミュニケーション入門 看護のパワーアップにつながる理論と技術	渡部富栄	ライフサポート社
参考書	実践 人間関係づくりファシリテーション	津村俊光、星野欣生編集	金子書房
参考書	コミュニケーション力 人間関係作りに不可欠な能力	渡邊忠、渡辺三枝子	雇用問題研究会
参考書	人間関係トレーニング私を育てる教育への人間学的アプローチ	南山短期大学人間関係科監修	ナカニシヤ出版
参考書	ナースのためのアサーション	平木典子、沢崎達夫、野末聖香	金子書房
参考書	生涯人間発達論 人間への深い理解と愛情を育むために	服部祥子	医学書院
教科書	考える障害者	ホーキング青山	新潮社

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						講義後にレポート課題を課す		

【課題に対するフィードバック方法】

課題レポート、リアクションペーパーについては疑問が解消され学習の方向性が見出せるように授業の中でフィードバックを行う

【連絡先】

氏名	オフィスマナー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
石綿 啓子	講義終了後	新津キャンパス（J205）、西新潟中央病院キャンパス（322）	ishiwata@nupals.ac.jp

【その他】

人間関係論の知識を活用する。履修を前提として授業を進めるので復習しておくこと。

【成績評価基準】 レポート評価の詳細は授業中に提示する。レポート評価（100点満点）のうち60点以上を合格とする。

地域・在宅看護論		授業担当教員	小山 歌子・古地 順子・中垣 紀子・定方 美恵子・細道 奈穂子・明神 一浩		
		補助担当教員			
		区分	専門教育必修科目		
		年次・学期	1年次 後期	単位数	2単位
看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程			
	◎Ⅲ、Ⅴ、○Ⅱ / A－6、C－2、D－3、4、E－1、2				

【授業概要】

地域で生活する様々な発達段階にある対象（小児、母性、成人、老年等）や健康支援が必要とされる状況にある対象（妊婦、精神疾患等）に対して、日常生活援助、ならびに医療的援助を行うための基本的なアセスメントや援助技術の具体的展開方法を学ぶ。地域・在宅看護における紙上事例を展開し、地域で生活する人々とその家族に対する看護につなげる思考過程と必要な援助方法について学習する。

【実務経験】

（小山）行政保健師、地域保健課長としての実務経験を活かし、本科目の講義を行う。
（古地）大学病院に12年間勤務した経験を持つ。実務経験をもとに本科目の各授業において具体的事例を用いるとともに看護の実践的課題にも言及する内容の講義を行う。
（中垣）小児専門病院で27年間、小児看護に携わっていた。この実務経験をもとに、本科目の講義を行う。
（定方）病院で6年間の実務経験、短大と大学で40年間看護教育を行うとともに保健医療機関で実習指導を行った経験を持つ。この経験を生かして、本科目の講義を行う。
（明神）精神科病院、訪問看護ステーションの管理者として携わった経験を活かし、本科目の講義を行う。

【到達目標】

1. 対象別に地域で生活する人々とその家族に対する看護援助の方法を理解できる
2. 地域で生活する人々とその家族の紙上事例に対する看護過程を展開できる
3. 支援対象の生活ニーズの捉え方と生活者の視点でのアセスメントについて説明できる
4. 地域で生活する人々への看護介入において、生活者の視点に沿った支援の方向性が理解できる

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーション 在宅看護過程の展開 1	1. 科目概要の説明 2. 在宅看護でのアセスメント 3. 看護過程の考え方 4. 訪問看護の計画立案	講義	予習：シラバスを読み、履修上の課題を明らかにしておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	小山
2	成人期在宅療養者の理解	1. 成人期在宅療養者とその家族の特徴 2. 医療施設と関連をもちながら職業を持って働き地域生活を送る成人を支援する看護 3. 成人期在宅療養者とその家族の意思決定を支える看護	講義	予習：成人期在宅療養者の特徴について自分の考えを書き出す（90分） 復習：講義内容についてノートにまとめ、要点を書き出す（90分）	1・2・3・4	古地
3	成人期在宅療養者の在宅看護	1. 地域社会生活における医療的ケアとそれが必要とする成人期在宅療養者の支援方法 2. 医療的ケアを必要とする成人期在宅療養者とその家族の暮らしを支える看護	講義	予習：第2回講義の内容をノートに基づいて振り返ってくる（60分） 復習：講義内容についてノートにまとめ、要点を書き出す（120分）	1・2・3・4	古地
4	老年期在宅療養者の理解	1. 老年期在宅療養者の特徴 2. 老年期在宅療養者とその家族のとらえ方 3. 老年期在宅療養者に関係する制度やサービス・社会資源 4. 入退院・入退所など、療養の場における看護師が行う支援	講義	予習：老年期の対象の特徴について考えておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	細道
5	老年期在宅療養者の在宅看護	1. 老年期の在宅看護過程の考え方 2. 老年期の認知症在宅療養者の看護 3. 老年期の老衰で在宅看護を受ける利用者の看護 4. 老年期在宅療養のターミナル期の看護	講義	予習：老年期在宅療養者の在宅看護について考えておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	細道
6	小児の在宅療養支援1	1. 小児の在宅療養の現状と課題 1）医療が直面している問題 2）小児医療が直面している問題 2. 在宅療養児に関係する制度やサービス・社会資源 3. 医療的ケア児の看護	講義	予習：在宅療養が必要な小児の特徴について調べておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・3	中垣
7	小児の在宅療養支援2	1. 重症心身障害児、高度医療依存児へのケアと家族支援 2. 在宅ケアを必要とする小児の特徴 3. 家族とのかかわりの進め方ーケアに入るプロセスー 4. ケアにかかわる家族の力量形成の支援 5. 家族への精神的・心理的支援	講義	予習：重症心身障害児、高度医療依存児の特徴について調べておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	中垣
8	疾患をもつ母性への地域看護	1. 生活の場を中心にした母性看護の目標 2. 地域で暮らす母性への施策、疾患をもつ妊産褥婦・家族への看護 3. 疾患を持つ母性に提供する制度やサービス・社会資源～重症悪阻、産後うつ～	講義	予習：健やか親子2 1、健やか親子2 1（第2次）、産後うつについて調べておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	定方
9	育児に困難を抱える母性への地域看護	1. 育児に困難を抱える母親と家族の特徴 2. 母性の看護過程の考え方 3. 育児の困難を抱える対象への施策 4. 育児に困難を抱える母親への看護 ～母乳育児に困難さのある母親～	講義	予習：育児に困難をきたすのはどのような背景があるのかインターネットで配信されている公的なリソースから調べておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	定方
10	精神疾患を持つ在宅療養者の理解	1. 精神疾患を持つ在宅療養者の特徴 2. 精神疾患を持つ在宅療養者とその家族のとらえ方 3. 精神疾患を持つ在宅療養者に関係する制度やサービス・社会資源	講義	予習：精神疾患を持つ在宅療養者の特徴について考えておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	明神

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
11	精神疾患を持つ在宅療養者の看護	1. 精神疾患を持つ在宅療養者の看護過程の考え方 2. 精神疾患を持つ在宅療養者の療養の場における看護師が行う支援 3. 精神疾患を持つ在宅療養者に多い疾患と看護	講義	予習：精神疾患を持つ在宅療養者の看護について考えておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	明神
12	在宅看護過程の展開 2	1. 事例展開 2. グループワーク	講義	予習：事例展開方法について第1回の授業内容に目を通す（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める。（90分）	1・2・3・4	小山
13	在宅看護過程の展開 3	1. 事例展開 2. グループワーク	講義	予習：事例展開を考えておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	小山
14	在宅看護過程の展開 4	1. 事例展開の資料印刷 2. グループワーク発表	講義	予習：グループ発表ができるように準備しておく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・2・3・4	小山
15	まとめ	1. 諸外国の訪問看護 2. 在宅における看護管理	講義	予習：教科書該当ページを読んでおく（90分） 復習：講義を振り返り、学びを深める（90分）	1・3・4	小山

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」地域・在宅看護論①	臺有桂、石田千絵、山下留理子	メディカ出版
教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支える技術」地域・在宅看護論②	臺有桂、石田千絵、山下留理子	メディカ出版

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	100%							
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

授業内容については、授業の中で時間を設け解説する。
授業に関して寄せられた要望は、Potal NUPALS及びMicrosoft Teams を利用して回答する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
小山 歌子	月・火曜日12:10～13:00	西新潟中央病院キャンパス（317）	koyama@nupals.ac.jp
古地 順子	月～金曜日12：10～13：00	西新潟中央病院キャンパス（318）	kochi@nupals.ac.jp
中垣 紀子	水曜日13時－17時	西新潟中央病院キャンパス（321）	nakagaki@nupals.ac.jp
定方 美恵子	水曜日 12時30分～13時	新津キャンパス（J205）	sadakata@nupals.ac.jp
細道 奈穂子	授業終了後	非常勤講師室（A棟209）	
明神 一浩	授業終了後	西新潟中央病院キャンパス（312）	myoujin@nupals.ac.jp

教育学 Pedagogy	授業担当教員	木村 哲郎		
	補助担当教員			
	区分	教養選択科目		
	年次・学期	1年次 後期	単位数	1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）	保健師課程		
	○ I / B－2、C－2			

【授業概要】

教育学の基礎的理論を学ぶ。具体的には人間の発達と教育についての基本的理論、子どもの権利条約の基本原理、教育方法・技術の理論と実際、教育計画の立案などについて学ぶ。更に、今日の子どもをめぐって喫緊の課題となっているトピックを理解し、その問題の検討を通して、対人援助における指導とケアのあり方について考察する。

【到達目標】

- 1.人間発達に関する基礎的理論を理解し、教育が果たす役割について説明することができる。
- 2.子どもの権利条約とその基本的な原理について説明することができる。
- 3.教育方法の基本的な技術について理解し、それを活用することができる。
- 4.教育課題について計画の立案から評価までの流れと原則を理解している。
- 5.教育めぐる事例の考察を通して、対人援助における指導とケアのあり方について考察できる。
- 6.教育をめぐる諸問題に関心を持ち、取り上げたトピックについて、自らの意見を持ち、積極的に話し合うことができる。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	オリエンテーションー教育とはどのような営みか	自身の学校体験や身近なトピックを通して、教育について関心を持ち、講義全体の概要と視点について理解する。	講義	予習：シラバスを熟読する。（30分） 復習：教育について考える視点を整理する。（60分）	6	木村
2	人間の発達と教育	人間発達の基本的な理論を学び、教育が果たす役割について考察する。	講義	予習：発達に関する資料を熟読する。（60分） 復習：代表的な発達の理論について整理しまとめる。（60分）	1	木村
3	教育を受ける権利とその思想	子どもの権利条約に示される人間発達をめぐる権利の体系を理解し、その子ども観、人間観について考察する。	講義	予習：子どもの権利に関する資料を熟読する。（60分） 復習：子どもの権利条約の内容について整理しまとめる。（60分）	2	木村
4	教育方法・技術の理論と実際	教授－学習理論の基礎を学び、説明、発問、指示等の具体的な教授行為のあり方を理解する。	講義	予習：教育方法に関する資料を熟読する。（60分） 復習：教育方法・技術について整理しまとめる。（60分）	3	木村
5	教育の計画と評価	教育のアプローチに際して、問題の発見、現状分析、方針の作成、指導計画、評価等の原則と方法について理解する。	講義	予習：教育計画に関する資料を熟読する。（60分） 復習：教育計画の具体例について整理しまとめる。（60分）	4	木村
6	指導とケア	不登校、被虐待など「生きづらさ」を抱える子どもたちの事例を通して指導とケアのあり方を考える。	講義	予習：指定された実践記録を熟読する。（60分） 復習：指導とケアについて自分の考えをまとめる。（60分）	5,6	木村
7	特別なニーズと教育の課題	主に発達障害を持つ子どもの事例を通して、特別なニーズとインクルーシブ教育について考える。	講義	予習：特別なニーズに関する資料を熟読する。（60分） 復習：インクルーシブ教育について整理しまとめる。（60分）	5,6	木村
8	今日の教育、福祉、医療の現状と子どもの発達	経済格差が子どもの教育、福祉、医療に及ぼす影響を理解し、社会的環境と子どもの発達の関係について考察する。	講義	予習：今日の教育、福祉、医療の課題を調べる。（60分） 復習：社会的環境と子どもの発達について整理しまとめる。（60分）	1,2,5,6	木村

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・編者	出版社
教科書	授業中に資料を配布する		
参考書	問いから始める教育学	勝野正章、庄井良信	有斐閣
参考書	看護のための教育学	中井俊樹	医学書院

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合	60%						40%	
備考								

【課題に対するフィードバック方法】

- ・毎時間、授業内容に関する小課題とコメントの記入を求め、次時の冒頭にフィードバックする。また成績評価、授業への貢献度等の資料とする。
- ・定期テスト後、解答例を公開する。

【連絡先】

氏名	オフィスアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
木村 哲郎	月～金の昼休み	E404	kimutetsu@nupals.ac.jp

在宅医療	授業担当教員		斎藤 忠雄	
	補助担当教員			
	区分		専門基礎選択科目	
	年次・学期		1年次 後期	単位数 1単位

看護学部 看護学科	DP達成との関係/看護学教育モデル・コア・カリキュラム対応項目（中項目）		保健師課程	
	○III、V / Aー7、Bー2、Dー6、Eー1、2			

【授業概要】

入院医療、外来医療に引き続く第三の医療としての在宅医療のあらたな意味、その成り立ちと概要を理解する。在宅医療は、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士、介護支援専門員、介護福祉士、栄養士、管理栄養士など在宅ケアに携わる多職種協働であり、在宅ケアと同義語とされる。その目標は自立と尊厳の維持向上であり、QOLを支援することにあることを理解する。

【実務経験】

4年間の病院勤務後、大学院にて基礎研究。博士号取得後アラバマ大学微生物学教室で2年間客員助教授を務める。帰国後、地域医療（在宅医療）に取り組む。2007年、生活支援が在宅医療においても不可欠であることを認識し、24時間体制の小規模多機能型居宅介護（現在は、看護小規模多機能）サービスを開設、14年間運営している。現在、新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会会長。

【到達目標】

- 01)「生きる」を支える在宅医療の成り立ち、その背景を説明できる。
- 02) あらたな在宅医療提供体制をめざした地域医療構想を知る。
- 03) 地域医療構想の受け皿となる地域包括ケアシステムを説明できる。
- 04) 看取りと緩和ケア、ホスピスケアの意味を説明できる。
- 05) 自己と他者の関係から、自己実現の欲求を知る。
- 06) ACPと終活の関係を説明できる。
- 07) 「人間を知る」ことと在宅医療の目指すところが同じであり、人の尊厳を理解し、人権・福祉理念を認識する。
- 08) 健康寿命と生物学的寿命を理解し、少子超高齢社会を支えるためには健康寿命延伸が必要であり、フレイル予防が最重要であることを知る。

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	授業方式	授業外学習（予習・復習）	到達目標番号	担当教員
1	在宅医療とは：医療の動向と在宅医療の意味と成り立ち	超高齢社会に対応するためには、1970年代の高度成長期型から21世紀型の全世代型医療（社会保障）へと転換しなければならない。そのためには、地域医療構想を基にあらたな在宅医療提供体制が必要となり、その受け皿としての地域包括システムを整備するが、その接点となるのが新たな概念をもつ在宅医療であることを示す。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	01)	斎藤
2	病院完結型から地域で治し支える在宅医療へ：人間の人權と尊厳を守る	病院医療と在宅医療の視点の違いを説明する。さらに、在宅医療は人間のQOLを支援し、人間の自立と尊厳の維持向上を目標とすることを示す。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	02)	斎藤
3	在宅ケアを支える医療・介護：人間の自立を支える地域包括ケアと地域共生	地域包括ケアの起源をその深化が、高齢者のみならず支援を必要とするすべての人が安心して暮らせる共生社会を実現することを示す。そのコアとなる介護サービスとして小規模多機能型居宅介護を紹介する。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	03)	斎藤
4	多職種連携から多職種協働による在宅医療の実践	在宅医療は多職種連携から多職種協働の段階へと推移している。ICTを利用することで業務の効率化がはかれリアルタイムの情報共有も実現できることを示す。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	04)	斎藤
5	看取りと死の教育：最期まで自分らしく生きる看取りと死の教育：最期まで自分らしく生きる	症例を通して、死に至る身体の変化を理解する。また、近年がんに対する治療の進歩からがんサバイバーとの関りはまれでなく、正しくがんについて理解することが求められる。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	05)	斎藤
6	緩和ケア：最期まで自分らしく生きる～在宅ホスピスボランティアの役割	人生の最終段階を示すことばとして緩和ケアを理解する。現在は治療開始と同時に開始されること、ホスピスケアボランティアも緩和ケアチームの一員としての役割があることを知る。さらに、自己のあり様は、他者が拠り所となってもたらされることを示す。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	06)	斎藤
7	意思表示・意思決定支援とACP:ACPと終活の関係	意思表示・意思決定のためのACPについての正しい理解と、わが国の「人生の最終段階における医療・ケアのプロセスに関するガイドライン」を示す。さらに、終活との関係性について述べる。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	07)	斎藤
8	健康寿命延伸のための健康サポート：フレイルの概念とその予防	フレイルとは、加齢に伴う予備能力の低下のため、種々のストレスに対する回復力が低下した状態を示すFrailtyの日本語訳であり、要介護状態に至る前段階とされる。その予防は超高齢社会での健康寿命延伸には不可欠であることを知る。	講義	予習：講義プリントを読む 復習：講義内容の確認	08)	斎藤

【教科書・参考書】

種別	書名	著者・编者	出版社
教科書	講義プリントを配布		
参考書	ひまわり	斎藤忠雄	ルネッサンス・アイ

【成績評価方法・基準】

評価方法	定期試験	中間試験	シミュレーション試験	技能試験	その他の試験	レポート	観察記録 授業態度 授業への貢献度	その他
割合						100%		
備考						講義後にレポート課題を課す		

【課題に対するフィードバック方法】

レポートの集計結果を定期試験期間後に開示

【連絡先】

氏名	オフィシアワー	研究室（部屋番号）	Eメールアドレス
斎藤 忠雄	講義終了直後	講義室または非常勤講師室（A棟209）	

【その他】

各授業は配布されるプリント主体で行う。

【成績評価基準】 レポート評価の観点の詳細は授業中に開示する。レポート評価（100点）のうち60点以上を合格とする。